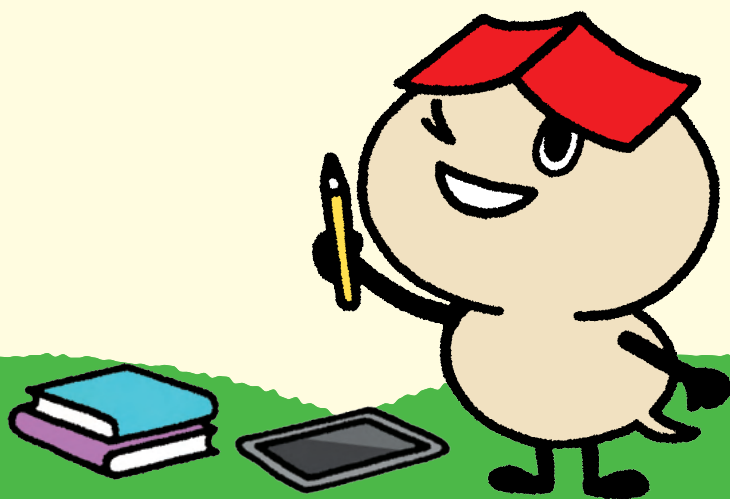


第3回

お気に入りの一冊を  
あなたへ

読書推せん文コンクール



令和5(2023)年度  
入賞作品集



お気に入りの一冊を  
あなたへ

読書推せん文コンクール

令和5(2023)年度  
入賞作品集

公益財団法人 博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

## 目次

ごあいさつ	公益財団法人博報堂教育財団理事長 戸田 裕一	4
選考委員からの講評		6
個人賞入賞作	小学校1～3年生の部	9
個人賞入賞作	小学校4～6年生の部	31
個人賞入賞作	中学生の部	63
団体賞入賞団体一覧		132
個人賞入賞者一覧		134
コンクール概要と応募総数		136

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益財団法人 博報堂教育財団は、1970年に財団法人 博報児童教育振興会として誕生した後、2011年に公益認定を受け、2020年に現在の名称に変更いたしました。設立以来、「子ども」「ことば」「教育」をテーマに掲げ、子どもたちが「ことば」を通じて、感じ、考え、豊かに表現できるようになることで「生きる力」が強くなることを願って活動을続けてまいりました。

財団設立50周年記念事業として、2020年度に1回限りの予定で開催した「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」でしたが、たくさんの方々からご好評をいただき、2022年度から毎年継続して開催することにいたしました。今回は、第3回となりますが、全国各地および海外からも合わせて、実に3万を超える作品のご応募をいただきました。

応募してくださった小中学生の皆さま、ありがとうございます。保護者の皆さま、学校の先生方や教育委員会など教育関係者の皆さま、サークルの代表の皆さま、ご支援いただいた団体の皆さまなど、ご協力いただいたすべての方々に感謝いたします。また、選考いただいた先生方には、多大なご尽力を賜り、深く御礼申し上げます。

今回も素晴らしい作品ばかりでした。皆さんが原稿用紙に書いた文字から、本が大好きな気持ちと、すすめたい相手に対する熱い想いが伝わってきます。私自身も読んでみたいと思う本に何冊も出会いました。これからもたくさん本を読み、本から何かを感じ、何かを考え、そしてその想いを誰かに伝えることを続けていってほしいと思います。当財団の「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」が、皆さんの「ことばの力」を育む一助になれば幸いです。

2024年度も開催いたします。多くの皆さんからのご応募をお待ちしております。



## 選考委員からの講評

五十音順・敬称略



公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事

中馬 淳



今回も力作ぞろいで、惜しくも入賞に至らなかった作品の中にも、入選作と比べて遜色のないものが多数ありました。また、前回と比べると、家族や友だちとのやりとりを題材にした穏やかな作品が多かった印象があります。選考にあたって、こだわったのは2点です。まず、「推せん文」であること。本を薦める相手と、選んだ本と、そこに展開されるストーリー。この3つがしっかりつながっている作品に重きを置いて選びました。もう1点は、薦めたい相手への想いにあふれていること。中でも、自分の本音とか本心をさらけ出した文章に力強さを感じます。読んで、思わず「よく、書いてくれた!」と言いたくなる作品もたくさんありました。



慶應義塾大学 教職課程センター教授

佐久間 亜紀



今年も、みなさんからのオススメ文を本当に楽しく読ませて頂きました! 今年で3回目になるせいか、好きな本を誰かに勧めるために書く、という目的がしっかり意識されていて、書き方もよく練られていましたので、一つ一つの作品の質が高くなってきたように感じます。

内容としては、前向きな穏やかなテーマが多く、誰にお勧めするかも素直な作品が多かったのが印象的でした。作品の粒が揃ってきたのは、水準が高くなってきたということでもあり、よいことなのですが、前回までにみられたような、思春期ならではの葛藤や叫びが表現にほとばしるような作品も、私は大好きでしたので、来年はどんな作品が集まるかを楽しみにしています。



児童文学作家

久米 絵美里



今の時代にこそ必要な、「ヒーロー」のような作品が多く、とても感動しました。最近、タイムパフォーマンスを重視しつつ、SNSでの炎上にも気を配らなければならない、そんな緊張した、少し窮屈な時代かと思えます。その中で今年は、失敗を恐れて縮こまっている心に対し、「大丈夫だよ」と、やさしく、時に力強く声をかけてくれるヒーローのような作品にたくさん出会えて、私自身もとても救われました。また、どの作品も情報の見せ方が本当に上手で、読み手がわくわくと続きを知りたくなるような例の紹介や、あらすじの切り取り方に魅せられ、今年もたくさん本を買ってしまいました。すてきな本のご紹介をありがとうございました。



文部科学省初等中等教育局 視学官

大滝 一登



コンクールも3回目を迎え、「読書推せん文」として内容がこなれ、進化した印象を受けました。読んで欲しい相手を意識して書く。これを楽しんでいる様子が伝わってきました。選考にあたっては、選考基準を踏まえながら、本のストーリー、登場人物、出来事を「自分ごと」として捉え、それを誰かに伝えようとしているものを選びました。書いた人が、「何を訴えかけているのだろう」と思いながら読んでいくと、本当にその本を読みたくなる作品がある。一方で、これまで受け継がれてきた言語文化の作品を深く読み込んで、伝えるための表現力を持っている作品もありました。選考の際には、私自身に強く響いた作品を選びました。

# 小学校 1～3年生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。



広島大学大学院  
人間社会科学研究科・教育学部教授

山元 隆春



回を重ねて、すすめる相手の像をつくるのがうまくなってきました。小学生低学年では、保護者や亡くなった方に向けて書くものが多い。高学年になると、読み手に仲間を求めてくる。共鳴で人を惹きつけるような作品が増えてきます。中学生になると、読み手の抽象化が進みます。「あなた」という言葉が現れ、読者と共感的な関係を結ぼうとする。

こうしてターゲットを絞り込んでくるのが今年の特長でした。激しく辛辣な作品が減ったのは、相手が明確になってきたからかもしれません。こうした中で、読み手の私たちに「何を訴えかけているのか」に重きを置いて選考しました。推せん文が、進化している、絞られている、深まっている、と実感しました。



作家・コラムニスト

ひきた よしあき



過去2回は、コロナ禍で開催されました。学校に通えず、マスクをする中で書いたものです。今年は違います。学校に行けるし、大きな声も出せるようになった。

その影響が、これほど文章に現れることに驚きました。日々の生活が変わったからなのか、推せん文としての精度があがったからなのか、読み手に呼びかけてくる作品が多かったようにも思います。読書感想文は、個人の思いを書くのが主ですが、推せん文は、読み手に「知っていますか?」「あなたにわかってほしい」と呼びかけてくる。私は、選考基準に加えて、「相手に呼びかける熱量」を作品選びのモノサシにしました。今回初めて、コンクールの「歴史」を感じました。続けていきたいですね。

# 『おかあさん ありがとう』

すすめたい  
相手 ぼくのおかあさん

三浦 颯人（宮城県）  
聖ドミニコ学院小学校1年生



『おかあさん ありがとう』  
みやにしたつや／作・絵  
金の星社

おかあさん、いつもぼくのおせわをしてくれてありがとう。っておもっているけど、はずかしくていえないです。そんなぼくのきもちがつたわるきがして、ぼくはこの本がすきです。ぼくが四さいのときは、この本をいっしょによんでいたよね。本のさいごのあかちゃんをうんでるシーンは、おかあさんいつもなきながらよんでくれたね。ぼくをうんだときのことをおもいだすって。

でも、さいきんはいっしょによんでいないね。だからおかあさんにこの本をすいせんしたいです。またいっしょによんで、ありがとうってきもちをつたえたいです。そして、ぼくがうまれたときはなしをまたききたいな。いつもありがとう。

# 『わすれられない おくりもの』

すすめたい  
相手 ばあば

湊 敬太郎（宮城県）  
聖ドミニコ学院小学校1年生



『わすれられない おくりもの』  
スーザン・パーレイ／作・絵  
小川仁央／訳  
評論社

アナグマがしんでどうぶつたちはかなしんでいましたが、アナグマののこしてくれたおくりものをおもいだして「ありがとう」と言うところが、いちばんかんどうしました。この本をよむと、このあいだでんごくへいったじいじのことをおもいだします。けんきゅうしゃのじいじといっしょに、いろいろなしよくぶつのはっぱやはなをけんびきようでみたので、ぼくはかさつやかんがえることがすきになりました。じいじがのこしてくれたおくりものです。

じいじをうしなつていちばんかなしんでいるばあばにこの本をぜひよんでほしいです。この本をよむとじいじをおもいだすことができます。じいじはぼくたちをいつもみまもっているよ。



## 『となりのせきの ますだくん』

おすすめの  
相手 いちねんせいになるきみへ

善如寺悠乃（群馬県）  
フェリーチエ玉村国際小学校1年生



『となりのせきのますだくん』  
武田美穂／作・絵  
ポプラ社

わたしは、いちねんせいになりました。いちねんせいになったときわたしは、どきどきしました。このほんのますだくんがとりにいたらやだなっておもいました。なぜかというと、けしごむのかすがはみだしただけでいすをけるし、みほちゃんとはくじやないことがますだくんはぜんぶとくいです。こんなひとがとりにいたらいやです。にゆうがくしき、わたしのとなりはこどもえんからのおともだちでした。ますだくとみほちゃんもそのうちになかよくなりました。ますだくんは、みどりのかいじゅうみたいだったけど、ほんとはやさしいこでした。こんどいちねんせいになるあなたもあんしんしてください。かいじゅうみたいなのは、いません。

## 『酷道大百科』

おすすめの  
相手 車の中で  
たいくつな人へ！

佐和俊介（埼玉県）  
川口市立里小学校3年生



『酷道大百科 激狭、断崖、未舗装…  
愛おしい「国道」全53本』  
鹿取茂雄／編著  
実業之日本社

皆さんは、国道と聞いて立ばな道だと思いませんか。しかし、日本には、車が通れない国道もあります。とても酷いので「酷道」と呼んでいます。そんな国道の大百科がこの本です。この本を読むと、たいくつだった時間が少し楽しくなるから、おすすめします。

国道には、「オニギリ」と呼ばれる国道番号が書かれた青い標しきがあります。1〜459まであり、桁が少なくなるほど、重要な道です。どこにでもあるわけではないので、ぼくは、車の中からこれを見つけるのが楽しいのです。

おすすめの「酷道」は、339です。本州最北端の国道で、実は、一部分が階段なのです。観光名所なので今も残っています。ぜひ読んでみてください。





## 『小学館の図鑑NEOアート 図解はじめての絵画』

おすすめの  
相手  
美じゅつ館に行っても  
よくわからないあなたへ

赤木華奈（東京都）  
昭和女子大学附属昭和小学校3年生



『小学館の図鑑NEOアート  
図解 はじめての絵画』  
青柳正規／監  
小学館

私は初めて美じゅつ館に行った時「きれいな。でも説明がむずかしくてわからないな。」と思いました。そうしたらお母さんがこの本をすすめてくれてうれしくて少しずつ読んでいます。この本は昔の外国の生活やドレス、美じゅつ館の歩き方、絵のかき方、色々な絵のすごい所などがきれいな写真つきでのっています。ページをめくると世界中を旅しているよううっとりとした気持ちになります。読んでから美じゅつ館に行くと建物に入る時からわくわくするし絵の中の人たちに「おしゃれだね。」「楽しそうね。」「なぜ泣いているの。」「と話しくなります。いつかフランスのルーヴル美じゅつ館に行つて、モナリザに「会いたかったよ。何を考えているの。」「と聞いてみたいです。

## 『ちいちゃんのかげおくり』

おすすめの  
相手  
広しまサミットに  
来てくれた  
大とうりょうたち

嘉藤璃奈（東京都）  
白百合学園小学校3年生



『ちいちゃんのかげおくり』  
あまんきみこ／作 上野紀子／絵  
あかね書房

わたしはこの本を、広しまサミットに来てくれた大とうりょうたちに読んでもらいたい。ちいちゃんの家ぞくは、せんそうでいのちをうばわれてしまった。わたしも同じ四人家ぞく。弟をかこんで、毎日小さな幸せを感じている。もしせんそうがおこったら、わたしたちのふつうの毎日もきえてなくなってしまう。ぼう空ごうの中で、一人ぼっちでしんでしまったちいちゃんのことを思うと、かわいそうでたまらない。むねがぎゅうつといたくなる。わたしたちの幸せがいつまでもつづいてほしい。みんなで話しかって、せんそうを世界からなくしてほしいとわたしは強く思っている。



## 『水まきジイサンと 図書館の王女さま』

おすすめの  
相手 二年うめ組のみんな

田中夢乃（東京都）  
国立学園小学校2年生



『水まきジイサンと図書館の王女さま』  
丸山正樹／作 高杉千明／絵  
偕成社

「手話は聞こえない人たちにとってたいせつな言語」。この本に出てくることばです。

私がお母さんとよく行くカフェには、手話でせつ客をする方がいます。いつも「ありがとう」と口を大きく開けて、口の形で教えてくれて、手話でも伝えてくれます。この本を読んで、私はことばと手話で二倍のありがとうを店員さんからもらっていることに気が付きました。

八才の私の世界と、聞こえない人の世界はちがうところもあります。でも、どの世界も知ろうとすることが大切で、それはだれにでもできることです。私は今度、ありがとうを手話で伝えようと思います。その勇気をくれた本を、みんなに知ってほしいです。

## 『いのりの石』

おすすめの  
相手 日本の二年生

田中琳（東京都）  
昭和女子大学附属昭和小学校2年生



『いのりの石』  
こやま峰子／文 塚本やすし／絵  
フレーベル館

この本は、広しま電鉄のしき石のお話です。せんそうで原子ばくだんのひがいをうけたしき石は、せんそう後、平和の思いをこめてかんのん様がほられ「いのりの石」となりました。「いのりの石」は世界中へおくられ、「もうけつしてせんそうはしない」、「前向きに平和に向かっていきましよう」という思いを世界中に伝えていきます。この本をおすすめする理由は二つです。一つ目は、せんそうのつらい体けんをのりこえて、未来の平和について考えていることです。二つ目は八月六日にとろうながしをするアイスランドの様に、「いのりの石」の思いが海外に伝わっていることが分かることです。この本を読んで平和について考えるきっかけにしたいです。



## 『どっちでもいい子』

すすめたい  
相手

どっちにしようかまよって、  
なかなか自分の意見を  
言えない人

棚瀬こはる（東京都）

昭和女子大学附属昭和小学校3年生



『どっちでもいい子』

かさいまり／作 おとないちあき／絵  
岩崎書店

わたしは、この本の題名を見た時、わたしみたい  
な子の話だと思いました。お母さんに何かを  
聞かれると、つい

「どっちでもいい。」

って言ってしまうからです。

でも、本当にそう思っているのではなくて、  
お母さんがいい方いい方って思うからです。その  
方が、お母さんにとっていいのかなって思ってい  
ました。本の中のはるちゃんも同じ気持ちでした。

この本を読んで、どっちでもいいは、相手をこ  
まらせることがあると分かりました。わたしが思  
っていることと、相手が思っていることは、ちが  
うことがあるとも分かりました。すぐにはでき  
なくても、自分の気持ちをはっきり言えるように  
少しずつがんばります。

## 『給食室の いちにち』

すすめたい  
相手  
弟

二野瓶湊音（神奈川県）

平塚市立岡崎小学校3年生



『給食室のいちにち』

大塚菜生／文 イシヤマアズサ／絵  
少年写真新聞社

ぼくは、大好きな学校の給食のすばらしさが  
分かるこの本を、これから小学校にかよう弟に  
しょうかいます。この本は、給食室について  
カラフルな色と絵で小さい子にも楽しく読める  
本です。まず、この本を読むと、とてもおなか  
がすきます。そして、食べる事の楽しさや幸せ  
が伝わります。給食室の人がぼくたちの笑顔を  
見たくてがんばって作ってくれている事を知り  
ました。この本を読んでからもっと給食が大好  
きになりました。さいきん学校でも対面でみん  
なで給食を食べるようになりました。この本  
は、給食の楽しさが伝わって来るので弟は早く、  
給食が食べたくなると思います。ぼくは弟が入  
学するまで毎日一緒にこの本を読んであげます。



## 『メガネをかけたら』

すすめたい  
相手 めがねをはじめて  
かけるひとへ

小林真叶 (愛知県)

名古屋市立植田東小学校1年生



『メガネをかけたら』  
くすのきしげのり／作 たるいしまこ／絵  
小学館

わたしがはじめてめがねをかけるとき、びょういんでけんさするの、めがねをかけるの、とてもどきどきしました。おともだちがなんていうかな、へんじやないかなとしんばいでした。でも、このほんをよんだら、かぞくもせんせいも、みんなおうえんしてくれているのがよくわかって、ゆうきができました。すてきなまほうのめがねもたくさんできて、こころがあたたかくなつて、めがねをはやくほしくなりました。ゆうきをだしてめがねをかけたら、せかいはとってもきれいにみえるし、みんなはかわいいねとほめてくれるし、とてもよかったです。だから、はじめてのめがねを、かけるのがしんばいなこがいたら、よんでほしいです。

## 『なみのいちにち』

すすめたい  
相手 わたしのママ

大富そら (滋賀県)

湖南市立菩提寺北小学校2年生



『なみのいちにち』  
阿部結／作  
ほるぷ出版

わたしのママは毎日大いそがしです。せんたくをしたり、かたづけをしたり。妹をほいく園へおくることもしたいへんです。わたしが読んだ『なみのいちにち』は、なみのおはなしでなみがでてきて、あさの海、ひるの海、よるの海でのなみのようすと、はまべにくる人たちのようすがかいています。わたしは、ひるの海がすきで、なみといっしょにあそびたいです。しずかなみの音をきくこともしたいです。心があたたくなるとおもいます。だから毎日いそがしくしているママもこの本を読んでなみの音をきいて、つかれている心と体をやすめてほしいと思います。大好きなママいつもありがとう。ぜひこの本を読んでね。





# 『大ピンチずかん』

すすめたい  
相手 おとうさん

富士谷奏人（大阪府）  
和泉市立青葉はつが野小学校2年生



『大ピンチずかん』  
鈴木のりたけ／作  
小学館

ぼくのおとうさんは、「しまった。」が口ぐせです。おりょうりをこがしたり、みちをまちがったり大へんです。

この本には、大ピンチがたくさんつまっています。大ピンチレベル1から100まであります。おとうさんのいつもの大ピンチレベルは、50ぐらいだと思います。

いろんな大ピンチがあるけれど、大ピンチからたすけてくれるほうがかいてあるので、おとうさんによんでもらって、「しまった。」をのりこえてほしいです。大ピンチから、たすけてくれる人もいるので大ピンチなんてこわくないと思ってほしいです。ぼくはもうこの本をよんだので、おとうさんをたすけられたらうれしいなーと思っています。

# 『おやすみ、はたらくくるまたち』

すすめたい  
相手 しごとに行っている  
おとうさん

福永恵三（兵庫県）  
姫路市立豊富小中学校2年生



『おやすみ、はたらくくるまたち』  
シェリー・ダスキー・リンカー／文  
トム・リヒテンヘルド／絵 福本友美子／訳  
ひさかたチャイルド

この本は、ブルドーザーやクレーン車などのはたらく車があさからせつせとはたらいてお日さまがしずむとしごとがおわる。エンジンを切って「おやすみ」と言って、はたらく車たちがねむっていくお話です。

ぼくのおとうさんもおひるに、いっしょうけんめいはたらいています。つぎの日もがんばってはたらくためによるは、ゆっくりと休んでほしいからおとうさんに読んでほしいです。

おとうさんは、つかれてかえってくるから、よるいっしょにねるときにぼくが、この本を読んであげて、ゆっくりと休んでほしいです。



# 『おかしになりたい ピーマン』

おすすめの  
相手

ピーマンがにがてなひと

園山 結晴 (島根県)

出雲市立北陽小学校1年生



『おかしになりたいピーマン』

岩神愛／作・絵  
岩崎書店

このえほんは、ぼくもにがてなピーマンがみんなにたべてもらいたくて、いっしょうけんめいがんばるえほんです。おべんとうのおかずになることがゆめだけど、よろこんでもらえなくてかわいそうだなとおもいました。みんなのだいすきなおかしになれば、たべてもらえるとおもって、あめやあいすくりーむ、けーきになつてへんしんするピーマンだけど、すぐに「ピーマンがいるよ」とわかってしまったり、おかしたちにも「ピーマンはおかしになれないよ」とおこられてしまうので、たすけてあげたいなとおもいました。きらわれて、いくところがないピーマンはかなしすぎるから、にがてなひとにょんでもらいたいし、まずはぼくもがんばってたべたいです。

# 『こんとあき』

おすすめの  
相手

じぶんのこども

渡部 結衣 (島根県)

出雲市立北陽小学校1年生



『こんとあき』

林明子／作  
福音館書店

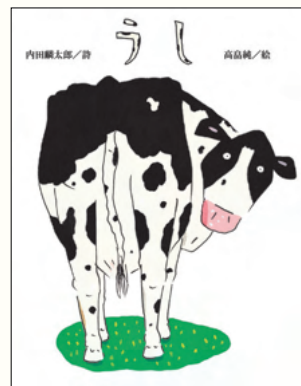
『こんとあき』は、わたしのおきにいりのえほんです。うまれたときからいつもいっしょにいてくれたぬいぐるみのこんと、たすけあいながらおばあちゃんのいえにいくところがすてきです。なにがあっても「だいじょうぶ」といつてくれるこんと、ぼろぼろになったこんをなおしてくれるおばあちゃん。みんなのやさしいきもちがたくさんかいてあって、ひとやものをたいせつにすることをおしえてくれます。こんはどうなるんだろう？とときどきするけど、さいごはしあわせなきもちになれるえほんです。わたしがおかあさんになったら、わたしのこどもによんであげたいです。



# うし

おすすめの  
相手 おともだち

坂下明咲日（岡山県）  
英数学館小学校1年生



『うし』  
内田麟太郎／詩 高島純／絵  
アリス館

わたしは、このほんを、としよしつでみつけました。

うしのえが、かわいくて、おもしろそうだったからかりました。

いえで、おとうさんといっしょによみました。ふたりで、たくさんわらいました。

「うしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうし」というところが、いちばんおもしろくて、だいすきです。

このほんを、よんだらたのしくなります。だから、おともだちにもよんでほしいと、おもいました。きっと、みんなわらってこのほんを、すきになってくれるとおもいます。「うしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうし」おもしろかった。

# 教室は

## まちがうところだ

おすすめの  
相手 一ねんせいになるみんな

木村健人（広島県）  
英数学館小学校1年生



『教室はまちがうところだ』  
蒔田晋治／作 長谷川知子／絵  
子どもの未来社

このほんをよむと、きょうしつでまちがえたこに、ばかとわらったり、あたまがわるいといつてしまわないようになります。「まちがえてもいいんだよ」と、おしえてくれます。

ぼくは、このほんをよむまでがつこうでてをあげるのがこわかったです。でも、たくさんてをあげて、はっぴようしています。なぜなら、まちがえるとみんなでべんきようしてじゅぎょうがたのしくなるからです。

ぼくは、このほんを「一ねんせいになるみんな」に、よんでほしいです。しょうがつこうは、まちがえてもこわくないたのしいところだからです。だいじょうぶだよ。まつてるね。



『食べて楽しむ』

## 科学実験図鑑

おすすめの  
相手

夏休みに自由研究が  
終わらなくて困っている  
子どもとお母さん

水ノ上 怜奈（広島県）

英数学館小学校3年生



『食べて楽しむ科学実験図鑑』  
尾嶋好美／著  
SBクリエイティブ

夏休みに自由研究で何をやったらいいか決まらず、まだ終わっていない子どもがいたら、その子とお母さんにぜひ読んで欲しいです。この本には、わたしでもできる料理がたくさんっていて、楽しく料理をしながら理科の実験が出来ます。読むだけでもおいしそうな写真と面白い実験が色々あって楽しめます。わたしは読んだだけでおなががいっぱいな気分になります。実際に作れば本当に食べることもできます。まさに自由研究のネタ探しにピッタリな本なのです。さらに子ども一人で作ればお母さんの家事が楽になるかも？ もちろん親子でやっても楽しいと思います。これって一石二鳥をこえて一石七鳥ですよ。

『学習漫画世界の伝記NEXT』

## 安藤百福

おすすめの  
相手

カップラーメンが  
好きなお父さん

角田 さつ紀（山口県）

山口大学教育学部附属山口小学校3年生



『学習漫画世界の伝記NEXT 安藤百福  
インスタントラーメンを発明した実業家』  
海野そら太／漫画 石川憲二／シナリオ  
石毛直道／監修・解説  
集英社

お父さん、今日もお昼はカップラーメンでしたか。お湯を入れて三分で完成しましたか。そのラーメンがどうしてオフィスで簡単に食べられるか知っていますか。  
お湯を入れて三分で食べられるようになったのは、安藤百福さんが、十年以上の年月をかけて、カップラーメンを開発したからです。この本には、その苦ろうと成こうのれきしがつまっています。  
たとえば、めんがカチコチなのは、油で一度あげているからです。このカチコチのめんを作るだけでも何度も失敗し、それを持ちこえています。便利のうらには、安藤さんのど力があるのです。この本を読めば、いつもとちがう三分になるかもしれません。ぜひ手にとってみてください。





# 小学校 4～6年生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

## 『おぼけのナンダッケ わすれもの おつかい』

すすめたい  
相手 お父さんとお母さん

佐藤陽輝 (タイ王国)

Dhammaraksa School 小学校2年生



『おぼけのナンダッケ  
わすれもののおつかい』  
巢山ひろみ／作 石川えりこ／絵  
国土社

ぼくはいつもわすれものをしたり、言われたことをわすれることが多いけど、ただわすれるのではありません。おこらないで下さい。ぼくのせいではありません。この本には「ナンダッケ」というおぼけがでています。ナンダッケは、夜おそくねていない子をおぼけにするのではなく、考えごとを食べておぼえてたことを何でもわすれさせてしまうのです。ぼくは自分の頭にナンダッケがすみついていてるのだと思います。なぜぼくがいつも色いろわすれてしまうのかを知ってほしいから、お父さんお母さんにこの本をよんでほしいです。ぼくがわすれんぼうなのはナンダッケが食いしんぼうで、よくぼくの考えごとを食べてるからです。ナンダッケのせいです。

## 『神様の階段』

すすめたい  
相手

自然がとても好きな人

田中幹琉 (茨城県)

東海村立中丸小学校5年生



『神様の階段』

今森光彦／写真・文  
偕成社

日本とちがう風景や自然の写真がたくさんある本です。その本には、山や水辺などが写っていて、とても美しいです。特に、田んぼは今の田んぼとちがった方法をしています。だから、上空からだといろいろな色やおもしろい形をしていて、でもそれも良いです。

他には、赤い雲と山が写っていて、絶景の写真もあってとてもきれいです。

その島では、神様をまねいて花などをささげたりしてるのですが、その山へささぐ所もきれいです。

他にもたくさん写真も写っていますが、動物もたくさん写っています。その島ならではの自然があるので読んでほしいです。

## 『給食アンサンブル』

すすめたい  
相手

転校した親友へ

樋口美緒 (茨城県)

守谷市立黒内小学校5年生



『給食アンサンブル』

如月かずさ／作 五十嵐大介／絵  
光村図書

同じ教室で一緒に食べた給食、おいしかったね。突然転校すると聞いて驚いたよ。給食中の放送からあなたの声が聞こえなくなるなんて寂しいよ。でも、きつとあなたの方がずっと辛くて不安だよ。誰からも好かれて、尊敬される存在だったから。新しい学校、とまどうことが多くて、大変だと思う。前の学校に戻りたいと思うかもしれない。そんな時はこの本の「七夕ゼリー」を読んでほしい。あなたと同じ転校生の話なんだ。

新しい学校でも、あなたらしくいてね。あなたの良さに気づいて、大事に思ってくれる友達が必ずいるよ。心配しないで心を開いてね。新しい学校が、心地のよい、あなたの居場所になる日が早く来るといいな。



## 『世界一やさしい 精神科の本』

おすすめの  
相手 障害をあまり知らない人

土筆心結（群馬県）  
甘楽町立福島小学校6年生



『世界一やさしい精神科の本』  
斎藤環、山登敬之／著  
河出文庫

私のお気に入りの本は、『世界一やさしい精神科の本』です。

私は、自分から障害を持っていることを友達とかに言いにくいです。私は、障害を持っていない人と障害を持っている人では、勉強のやり方とかが違うと思っています。障害を持っているからって別に普通の人間と同じだと思っている人に少しでもいいから障害の人の気持ちを分かかってほしいと思っています。

この本を読んだ人は、ぜひいろんな人におすすめしてほしいです。

1つの障害を持っている私は、急にイラついたりすることがあります。そして、人と関わる関係が難しいことがあるので、その時は、勇気を持って自分から声をかけるようにしています。ぜひ読んでみてください。

## 『地図で楽しむ すごい群馬』

おすすめの  
相手 地図と社会が好きな人

柳田陽佑（群馬県）  
フェリーチエ玉村国際小学校4年生



『地図で楽しむすごい群馬』  
都道府県研究会／著  
洋泉社

ぼくは地理が好きな群馬県民です。ぼくはこの本を読んで、群馬県のことが好きになって、気になります。とくに群馬県の歴史がすごいなと思いました。真田幸村や徳川家康や新田義貞のゆかりの地が群馬県にあり、自まんできる群馬県です。この本を読んでいくと、地図好きな人が歴史も好きになると思いました。社会好きな人にも、社会に関する色々なことが書かれています。ぼくが好きな地理も書かれてあります。たとえば、昔、群馬は海だったことや妙義山が二つあることなどたくさんあります。この本を読み終えたら、すばらしい群馬県だなと思ひ、ほこりに思いました。ぜひとも、この本を読んでみてくださいとみんなにしようかいしたいと思ひました。



## 『あんなに あんなに』

おすすめの  
相手 世界のお母さん

白旗千紘（埼玉県）  
川越市立新宿小学校6年生



『あんなに あんなに』  
ヨシタケシンスケ／著  
ポプラ社

子どもって、すぐわがママを言うよね。でも、そんな時間も大切にしてほしいな。  
わたしは、この本を読んで、お母さんといっしょに過ごす日々は、あつという間に過ぎていってしまうと分かったんだ。お母さんと、はなれるのは、わたしもいやだし、お母さんもさびしいと思う。だから、お母さんといれる、短い時間を大切にして、楽しいでいっぱい時間にしたいと思った。そうすれば、はなれる時にわたしも、お母さんも、悲しくはないと思ったから。

世界中のお母さんも、この本を読んで、子どものいる、短い時間を大切にしてほしいな。そして、少しわがママがあっても、やさしく受け入れてほしいな。

## 『ビター・ステップ』

おすすめの  
相手 全国の6年生

武石千輝（埼玉県）  
川口市立里小学校6年生



『ビター・ステップ』  
高田由紀子／作 おとないちあき／絵  
ポプラ社

僕には脳梗塞になってしまった大好きなおばあちゃんがいます。いつもおばあちゃんを心配しています。そんな僕がお勧めしたい本が『ビター・ステップ』です。この本は脳梗塞になってしまったおばあちゃんと同居をする家族の話です。主人公のあかりは大好きだったおばあちゃんが変わってしまつてぎくしゃくするけど、少しずつおばあちゃんのことを理解し前向きに進んでいきます。今の僕は自分のおばあちゃんと暮らすことはできないのでこの家族がうらやましいです。これから高齢化社会になります。自分の大事なおじいちゃんおばあちゃんのことを思い浮かべながら読んでみて下さい。きっとおじいちゃんおばあちゃんに会いたくなると思います。





## 『エリート』

すすめたい  
相手 自分の夢について  
なやんでいる人

能村恵菜（埼玉県）

川越市立新宿小学校6年生



『エリート』  
三月みどり／著 アルセチカ／イラスト  
Chinozo／原作・監修  
KADOKAWA MF文庫J

「『生きる』って、どういうことだと思いますか？」  
と、きかれたら、呼吸すること、死に怯える  
こと…。そう考えると思う。しかし少女は、全  
て違うと言う。そして少女は言った。

「大好きなこのために、自分の命という時間  
を使うこと」

「それが『生きる』ってことだと、私は思います」  
と…。

『エリート』を読んで私は、自分の夢に対する  
考えが変わった。もつと自分と向き合えるように  
しようと思えるようになった。

だからこの本は、自分の夢についてなやんでい  
る人に、ぜひ読んでほしい。きっと、今までより  
もずっと、自分と向き合えるようになるはずだか  
ら。

## 『たまひよ 女の子のしあわせ 名前事典』

すすめたい  
相手 漢字が苦手な人へ

池上稟（東京都）

文京区立窪町小学校6年生



『最新 たまひよ  
女の子のしあわせ名前事典』  
たまごクラブ／編 栗原里央子／監修  
ベネッセコーポレーション

私は漢字がとても苦手です。なので、本を読  
むのも余り好きではありません。そんな時、家  
にあったこの事典が目に入りました。両親が私  
の名前をつける時に買ったものだそうです。自  
分の名前は、一番最初に覚えて、一生使う漢字  
です。私の名前の「稟」を見てみると、「才能に  
恵まれ、開花させてほしい」という意味がこめ  
られていました。

この事典は、漢字の画数や読み、意味が分か  
りやすいのっていて、かわいいさし絵もあり、  
苦手な漢字も自然と頭に入ってきます。また、  
家族や友達の名前の漢字を探して、「へー、こん  
な意味があるのか!!」とか「こういう読みもす  
るんだ」と大発見もあり、漢字の苦手な人でも  
楽しく漢字にふれられる本だと思います。



## 『トリペと3』

### はじめてエブリデイ

おすすめの相手  
思春期で親とギクシャクしている君へ

小川ひより（東京都）  
江戸川区立平井西小学校5年生



『トリペと3 はじめてエブリデイ』  
コンドウアキ／著  
主婦と生活社

お母さんの本棚を眺めていた時、この子育てエッセイマンガに出会った。最初は暇つぶしに読んでいたが、ほのぼのとした雰囲気と赤ちゃんの繰り広げる面白い行動に、私はすぐにとりこまれた。

夢中で読んでいる時、「トリペと小さい頃のあなた、やってることそっくりなのよ」とお母さんに言われ、とても驚いた。それからお母さんは私の小さかった頃のことをたくさん話してくれた。

小さい頃のこととは私はよく覚えていない。だけど、この本を読むことは小さい頃の自分を読み返すようだなと思った。

君も、「小さい頃の自分」に出会ってみたい？ きつとお母さんやお父さんとの距離も少し、縮まると思うよ。

## 『もうひとつの場所』

おすすめの相手  
絶滅について他人事だと思っている人へ

神徳柚衣（東京都）  
多摩市立永山小学校6年生



『もうひとつの場所』  
清川あさみ／絵 今泉忠明／監修 網倉俊旨／文  
リトルモア

この本は、かつて実在した動物の「もうひとつの場所」です。もう絶滅してしまった動物たちがいるこの本を読んで私は悲しくなりました。「会ってみたい」「見てみたい。」そう思ってももうこの世界では会えないのです。美しい羽をもつリョコウバト。神がかった美しさをもつ虎カスピトラ。ビロードのような青灰色の美しい毛皮のウシの仲間ブルーバック。一度でいいから会ってみたい、そう思いませんか？ そんなすばらしい動物たちを絶滅においやったのは人間です。その事実が改めて分かるのがこの本です。もうこれ以上この本に他の動物が住むことのないよう、この本を手にとってほしい、そう思います。



## 『昨日の ぼくのパーツ』

すすめたい  
相手

学校でウンコをするのが  
はずかしくて  
がまんしてしまう人

廣岡陽希 (東京都)

葛飾区立柴原小学校4年生



『昨日のぼくのパーツ』  
吉野万理子／著  
講談社

学校でおなかがいなくなった時、ウンコをするのをためらったり、ウンコをしたことがバレたらはずかしいからがまんしてしまうという人は結構いるのではないだろうか。ぼくもその中の一人だ。そんな人にこの本をおすすめしたい。ぼくは二年生までひどい便秘になやまされていた。5日に1回出ればいい方で、便意をもよおすのはレアだから学校でも行かなければならない。いつかだれかにバカにされるかもしれないと不安だった。しかし、この本を読んで考えが変わった。ウンコは「昨日の自分のパーツ」だったんだ。だから何もはずかしがることはない。まちがった考えで、ウンコをバカにしたり、がまんしたりしないでよくないかと思う。

## 『秘密基地の つくりかた 教えます』

すすめたい  
相手

あのと一緒に秘密基地を  
作ろうとした人達

広瀬颯真 (東京都)

御蔵島村立御蔵島小学校5年生



『秘密基地のつくりかた教えます』  
那須正幹／作 黒須高嶺／絵  
ポプラ社

ぼくが四年生のとき、秘密基地を作ろう！と1人が言いだし、クラスの数人で秘密基地を作ることになりました。みんなで一生懸命作っていました。ある日、1人が秘密基地をうつかりこわしてしまい、みんなでその子をせめて、そのまま秘密基地作りは終わってしまいました。この本の中には、失敗をしても相手をせめず、はげましあい、自分の経験から別のアイデアを生み出すこと。ぼく達の思いつかなかった秘密基地の作り方や工夫などが書いてあります。あの時のあの友達とこの本と一緒に読んで、今度こそあきらめずにすごい秘密基地を作りたいと思います。



# 『愛するよりも 愛されたい』

令和言葉・奈良弁で訳した万葉集①

おすすめの  
相手 恋や愛について  
悩む十代の人へ

山本馨子（東京都）

お茶の水女子大学附属小学校6年生



『愛するよりも 愛されたい』  
令和言葉・奈良弁で訳した万葉集①  
佐々木良／著  
万葉社

個人差はありますが、十歳くらいになると、色々な事で悩むと思います。そのテーマの内の一つに、恋や、愛についてがあります。もちろん悩んでいるだけでも充分成長につながると思います。折角だからスッキリしたい。そこで、古代の人の恋愛に関する知見が詰まった、万葉集を読んでみるのはいかがでしょうか。時代によって恋愛観は違えど、真理はいつでも同じはず。しかし、万葉集は古語で書かれているため、なかなかとっつきにくいと思います。もちろん標準語の現代語訳もありますが、当時の首都是奈良。そこで、奈良弁で訳すことで、親近感がわくのではないのでしょうか。千三百年前の歌人達の恋歌は新たな発見へと導いてくれるかもしれません。

# 『クレヨンからの おねがい！』

おすすめの  
相手 転校しちゃった  
友達のYちゃん

瀧吉こあ（神奈川県）

横浜市立本牧南小学校4年生



『クレヨンからの おねがい！』  
ドリュー・デイウォルト／文  
オリヴァー・ジェファーズ／絵 木坂涼／訳  
ほるぷ出版

この本はYちゃんみたいに絵が好きな人が出てきます。いろいろな色のクレヨンから手紙が来るけど、私は緑色からの手紙が好きです。緑色はほかの色のだいたい色と黄色にけんかしてほしくないってやさしいことを思っていたからです。私もいろいろな色を使いたいと思います。Yちゃんは、いつもたくさん色を使って絵をかいていました。家や人、犬や猫などの動物、Yちゃんの絵を見ると、私も嬉しい気持ちになりました。そんな絵が大好きなYちゃんなら、この本がきつと大好きになると思います。そして、またたくさん絵をかきたくなると思います。これからもすてきな絵をかいてほしいです。





# 『いたずら おばあさん』

おすすめの  
相手 若返りたいお母さんへ

吉澤 ライラ 妃陽 (神奈川県  
横浜市立本牧南小学校5年生)



『いたずらおばあさん』  
高樓方子／作 千葉史子／絵  
フレーベル館

私のことを見て、「そんな、ぴちぴちのお肌になりたくないなあ」と言うお母さんにすすめたい本は、『いたずらおばあさん』です。この本は、二人のおばあさんが、一枚着ると、一才若返る不思議な服を着て、いろんな年齢になり、たくさんのイタズラをします。おばあさんの姿じゃ出来ないことを思いっきりするのは、読んでとても楽しいです。この本を読んだあときっとお母さんは、「良いなあ」や、「こんな服着てみたいなあ」と言うと思います。いつもお母さんは、私がすすめた本を、途中までしか読まないけど、『いたずらおばあさん』なら、最後まで読むと思うから、ぜひ読んでみてほしいです。

# 『青いあいつが やってきた!』

おすすめの  
相手 転校生のあなたへ

吉見 朋花 (神奈川県  
横浜市立南太田小学校4年生)



『青いあいつがやってきた!?!』  
松井ラフ／作 大野八生／絵  
文研出版

あなたの転校初日からの「どうしたらいいのか」がつきまとはなれない、その気持ちよく分かるよ。知らない顔、なれない環境、一年前の私と全く同じだから。私は主人公のサトシ君の「友だちが、いればいいんだ」「だけど、友だちが、できないんだ」の言葉が一番心に残ったの。なぜなら、本当の気持ちを言えたから。私にとってカッパは家族。だれと話せばいいかわからない、休み時間一人でいるさびしさ、自分が嫌になる感覚を、毎日両親に話したただけで、不思議と心が軽くなって前向きになれたんだ。サトシ君の自分の気持ちに気づいていく心の変化と、カッパの愛情にふれてほしいな。そして、今の頑張りが良い方につながればいいなと思っています。



## 『サイコーの 通知表』

おすすめの  
相手 校長先生

荒井樹人（長野県）  
松本市立清水小学校4年生



『サイコーの通知表』  
工藤純子／著  
講談社

校長先生、ぼくたちの学校の通知表のことで相談があります。

ぼくはこの本を読んで、今まで当たり前にもらっていた通知表について考えるようになりました。◎○△だと、どうしても◎以外が気になって悲しくなります。みんなが「これからがんばるぞ!」とニコニコになれるように、教科ごとの「得意なこと」や「苦手でも努力していること」を文で書くのはどうでしょうか？先生も、子どもがいいところを見つける方が、気持ちよく通知表を書けると思います。通知表を見せあうのはよくないと言われているけれど、いいところが書かれた通知表なら、みんなで見せあつてうれしい気持ちを一緒に感じることができます。

校長先生はどう思いますか？

## 『大きなたまご』

おすすめの  
相手 恐竜を育てたい人へ

宇佐見えみ（岐阜県）  
岐阜市立三里小学校5年生



『大きなたまご』  
オリバー・バターワース／作  
松岡享子／訳  
岩波少年文庫

大きなたまごがあつたら手元にとっておきたいよ。もしかしたら、恐竜のたまごかもしれないから。もしも、たまごから恐竜が生まれたら、あなたは世界に一匹しかない恐竜の飼い主になれる。絶滅したはずの恐竜が手元にいる。このお話ではニワトリのたまごからトリケラトプスが生まれる。ニワトリの飼い主は、そのトリケラトプスと一緒にくらし、離れない関係になるお話だ。

恐竜のたまごを見つけたあなた。この本を読んだ、恐竜の世話のお手本にするといいよ。上手に世話をして、絶滅したはずの恐竜と友達になって楽しく過ごしてね。あなたが、恐竜と友達になって楽しく過ごしていることを、願っているよ。



## 『給食室の いちにち』

おすすめの  
相手  
給食好きな小学生

横山翔季（静岡県）  
牧之原市立坂部小学校5年生



『給食室のいちにち』  
大塚菜生／文 イシヤマアズサ／絵  
少年写真新聞社

きみはいつもなにげなく食べている給食がどうやってできているか知っていますか。この本は給食が学校にとどくまでのお話です。

ぼくはこの本を読んでこんなに給食を作るのが大変なのだと分かりました。それは給食を作るのも大変だけど、作る前のえいせいチェックの大切さが分かりました。なのに給食室で働く人たちはいつもおいしい給食をつくってくれているところにぼくは働く人たちの愛がまつていると感じました。

みなさんもこの本を読んでみたら、いつも食べる給食よりおいしく食べられるかもしれないよ。ぼくもこの本を読んで今日の給食のチャイフインランチをおいしく食べようと思います。

## 『目でみる方言』

おすすめの  
相手  
未来の日本に住んでいる人たち

浜田亮太（愛知県）  
名古屋市立柴田小学校4年生



『目でみる方言』  
岡部敬史／著 山出高士／写真  
東京書籍

未来の日本では、いま使われている方言がどれくらい残っているだろうか？ ぼくがよく使っている「ときんときん」は、まだ使われているだろうか？

未来の日本に住んでいる人たちに、ぜひこの本を読んでほしい。方言には、なんとなくわかるものもあれば、全く想像できないものもある。この本には47都道府県の方言が写真と一緒に紹介されている。写真から何となく、「こういう意味かな？」と予想するのも楽しい。読んでいると不思議と笑顔になっていく。お気に入りの方言が見つかったら、ぜひ使ってみてほしい。ぼくのお気に入りの方言は「飴が泣く」だ。



## 『続わけあって 絶滅しました。』

おすすめの  
相手 絶滅しそうな動物たち

菱澤佳那（滋賀県）  
京都女子大学附属小学校6年生



『続 わけあって絶滅しました。  
世界一おもしろい絶滅したいきもの図鑑』  
今泉忠明／監修 丸山貴史／著  
サトウマサノリ、ウエタケヨーコ、北澤平祐／作画  
ダイヤモンド社

絶滅しそうな動物たちは今すぐこの『続わけあって絶滅しました。』を読んでください。この本にはこのまま何もしなかったらあなたの先ばいになるかもしれない動物たちがでてきます。どうして絶滅したか。どうしたら生きのびれたのかなどをその動物から聞くことができます。動物たちは「体が重くて絶滅した。だから体を小さく軽くしたらよかった。」など教えてくれます。このような先ばいのアドバイスを受けて進化してみてください。しかし、私たち人間があなたたちの生活をこわしていることもあります。そんな時は私たちが大人になった時、募金などをしてあなたたちを守ります。いっしょに生きのびましょう。

## 『パンダのひみつ』

おすすめの  
相手 お母さん

深田晃生（京都府）  
立命館小学校4年生



『飼育員さんおしえて！  
パンダのひみつ』  
松橋利光／写真 池田菜津美／文  
新日本出版社

お母さんは、行こうねと言うばかりでつれていってくれることがそんなにからつまらない。この本を読んでパンダに会いたいと私は思ったから、お母さんつれて行ってほしいな。  
パンダは前から好きだったけど、この本を読んでパンダ好きから、パンダ博士になれるし、パンダのふしぎやもんがいっぱい出てくるし、飼育員さんの仕事など、日本で生まれたパンダの名前や、ねている理由、竹の話などがのっています。私はこの本に協力しているアドベンチャーワールドに行ってみたいな。パンダのことを知った上で行ってみたいかもしれないね。  
お母さん、アドベンチャーワールドにつれて行ってね。





# 『わたしたちの カメムシずかん』

おすすめの  
相手  
きらいなものがある人

大内陽生（大阪府）  
和泉市立青葉はつが野小学校6年生



『わたしたちのカメムシずかん』  
やっかいものが宝ものになった話  
鈴木海花／文 はたこうしろう／絵  
福音館書店

わたしは、きらいなものがある人に、『わたしたちのカメムシずかん』という本を推せんします。この本は岩手県の葛巻町のある小学校の実話です。この地域には秋がくると、冬をこすカメムシが小学校に入ってきます。のうさくもつをだめにしたり、くさいにおいをはなつやっかいな虫ですが、校長先生の一言で、カメムシがきらいな人も、カメムシがすきになるようなとてもいいお話です。どんなにきらいなことでも、ちがうかくどからみると、ぜんぜんべつものにみえてきます。なので、なにかきらいなものがある人は、この本のようにべつのかくどから見えてほしいです。

# 『いつでも会える』

おすすめの  
相手  
お母さん

豊田大貴（大阪府）  
東大阪市立八戸の里小学校4年生



『いつでも会える』  
菊田まりこ／著  
Gakken

春にお母さんがかわいがっていた犬「イヴ」が天国に旅だってしまいました。お母さんが時々さびしそうな顔をすることがあります。ぼくは、『いつでも会える』をお母さんに薦めてあげたいです。この本は、犬のかいぬしのみきちゃんがある日いなくなってしまう。犬のシロは色々さがしまわるけど、みきちゃんが見つからず、最後に目をとじてみきちゃんの事を考えたら遠いけど近くにいて、いつでも会える事に気がつきます。

この方法をお母さんに教えてあげたら、いつでもかわいがっていたイヴに会えると思いました。そしてぼくも、東京にいるお父さんに会いたくなったら目をとじてみようと思いました。この本があればいつでも会える。



## 『戦国姫』

### —花の巻—

おすすめの  
相手 お姉ちゃん

中村彩愛（大阪府）  
立命館小学校4年生



『戦国姫—花の巻—』  
藤咲あゆな／作 マルイノ／絵  
集英社みらい文庫

お姉ちゃん、歴史は好き？ 私は『戦国姫』を二回読んだけど一回目よりも二回目の方がりかいできるからおもしろく感じられるんだ。お姉ちゃんが歴史の本を読んでいるのを見たことがないから読んでほしいよ。

でも本っておもしろいよね。前回読んでおもしろくないと思ったところがおもしろいに変わってしまったからね。この本はその人物の関係図があるから分らないところをみなおせるんだよ。そして、目次があるから自分が見たいページを見れるんだよ。

お姉ちゃん、一回読むより二回読む方がりかいが深まるから二回読んで感そうを教えてね。

## 『世界のクルマ大百科』

おすすめの  
相手 馬車を引いている馬

平野太一（兵庫県）  
神戸市立義務教育学校八多学園5年生



『世界のクルマ大百科』  
STUDIO TAC CREATIVE

馬くん、君は馬車を引いていてしんどいと思っただことはある？ もし思っただことがあったら『世界のクルマ大百科』を読んでみてね。

君たちの時代には、自動で動く車がないよね？ 未来にはすごいものがあるんだよ！ 今、君たちを困らせてる人間は僕らの時代では、ものすごい技術を持っているんだよ！ 人間の力はずすごいね！ 困っている君が読むと僕はすごく楽しいと思うんだ！ こんなにかつこくて、すごい力を持っている自動車が君たちの時にあったらいいね！ こんなにすごい自動車が君たちの時代にあつたら、大変な君のお仕事をやらなくて済むんだよ！ そして表紙もかつこくて中身も見やすい！ そんな『世界のクルマ大百科』を君に薦めるよ！



## 『マンガでマスター』

### 手話教室

おすすめの  
相手 世界中の手話が  
むずかしいと思ってる人

西江志月（岡山県）  
英数学館小学校4年生



『マンガでマスター 手話教室』  
早瀬憲太郎／監修  
藤科通市／漫画 山田せいこ／原作  
ポプラ社

ぼくは「ありがとう。」という手話を覚えて、初めて耳の聞こえない人に伝えたら「おつかれ様。」と、手話で返してくれました。その時、ぼくの手は、手じょうをかけられたようにカチカチだったけど、通じた時、手や体がウキウキして、もえ上がるくらいうれしかったので、手話がむずかしそう、手話なんてむりと思ってる世界中の人に、この本でもえ上がるうれしさを知ってもらいたいです。大会で、耳の聞こえない選手が、どうやってスタートの合図が分かると思えますか？ 選手の下に箱があって光って合図を出すと書いてありました。ぼくの知らない事がたくさんあっていて、耳の聞こえない人の世界が、ぼくの思いもしない世界で、みんなにも知ってほしいです。

## 『げたばこかいぎ』

おすすめの  
相手 家族のくつがくさくて  
困っている人

八谷悠真（広島県）  
府中町立府中小学校5年生



『げたばこかいぎ』  
村上しいこ／作 高島那生／絵  
PHP研究所

みなさんは、お父さんのくつがくさい、こんな経験はありませんか。そんなことが書いてあるこの本を紹介したいと思います。

この本を紹介したい理由は二つあります。一つ目は、何気ない日常の事が書いてあって関心をもったからです。

二つ目は、「パパのくつが、くさくなるのは、いっしょうけんめいに、仕事をしているからです。」という言葉が心に残ったからです。理由は、今ぼくは、野球の練習をがんばっていてくつがくさいからです。仕事だけじゃなくて何かの練習や友達と遊んでいると自然にくつはくさくなるものです。

家族のくつがくさくてもがんばった証なのではめてあげてください。ぜひ読んでみてください。



## 『鷹のように 帆をあげて』

おすすめの  
相手 祖父

山本あさひ（山口県）

山口大学教育学部附属山口小学校5年生



『鷹のように帆をあげて』  
まはら三桃／著  
講談社

親友を事故で亡くした女子中学生理央が、鷹を飼い、愛し育て、真剣に鷹匠を目指す。他界した親友に、帆翔する鷹の姿を見せる為、理央は悩み落ち込みながらも、決して諦めなかった。私の成長を楽しみにしていた祖父は三年前に亡くなった。コロナ禍で最期に会うことも出来ないままの別れだった。私は青い空を見上げると、祖父が空から笑顔で見守ってくれていると感じる。

鷹が帆翔する青空と、祖父が笑顔で見守っている青空は似ていると感じた。理央が、天国の親友に思いを届けたいと願ったように、私も元気に生きているよ！と祖父に届けたい。天国の祖父にこの本を読んでもらい、理央と私を重ねてほしいと願う。

## 『お菓子な手芸 ねんどでつくる スイーツ』

おすすめの  
相手 いつでもお菓子を  
見ていたい人へ

下村花生（高知県）

中土佐町立大野見小学校4年生



『ねんどでつくるスイーツ』  
鈴山キナコ／作  
まつもとめいこ／絵  
汐文社

わたしがこの本を気に入っている理由は、だれでもかたんに本物のようなお菓子がねんどで作れるからです。

おすすめのページはパフェを作っているところです。ペットボトルを切つてとう明のカップのよう器にします。そして色をつけたねんどでアイスクリームやホイップ、バナナなどを作つてのせます。

お菓子を食べなくても、見るだけで楽しめます。わたしは完成したら、家のリビングのテーブルに置いて毎日食べるふりをしたいです。毎日パフェを見てうれしい気持ちになります。パフェ以外にもどんどんふやして幸せな気持ちになりたいです。

いつでもお菓子を見ていたい人にぜひこの本を読んでほしいです。





# 中学生の部



作品は入賞者の居住地の都道府県コード順、同一都道府県内は氏名五十音順に掲載し、入賞者の敬称は略しました。

## 『くうき』が僕らを 呑みこむ前に』

おすすめの  
相手

毎日「くうき」を読んで  
少しづつ  
無理をしている人へ

鈴木雪乃（北海道）

札幌市立栄町中学校3年生



『くうき』が僕らを呑みこむ前に  
～脱 サイレント・マジョリティ～  
山田健太、たまむらさちこ／著  
理論社

突然ですが、みなさんは「くうき」を読んだことはありますか。おそらくほとんどの人があるでしょう。

たとえば、みんなで何かを決める時に手を上げて意見を言う人は少なく、ほとんどの人が黙っていますよね。私もその中の1人です。物事を決める時は「みんなが賛成する意見に賛成だ。」という状況になる事が多いでしょう。それだと物事を決めるのは「くうき」になってしまい、下手したら「誰も望んでいなかったこと」を選択してしまうかもしれない。発言すればよかったと後悔しますよね。

そんなズル休みした日の午後のように頭に残るもやもやをこの本はかき消してくれます。あなたもこのもやもや、この本でかき消してみませんか？

## 『同姓同名』

おすすめの  
相手

ネットの陰に  
隠れているあなたへ

清野夢花（北海道）

札幌市立上篠路中学校3年生



『同姓同名』  
下村敦史／著  
幻冬舎文庫

snsでのコミュニティが盛んな今。何を思い、誰を信じるのが正解なのだろうか。そんな問いを突き付けてくる小説。一人の<sup>おおやまさのり</sup>大山正紀が事件を起こしてしまったことをきっかけに同姓同名である彼らがネットとメディアからの批判に巻き込まれていく話。批判やら誹謗中傷とやらを「やめよう」なんてありきたりな言葉は歯止めの利かなくなったこの世の中には通用しにくいだろう。それでも読んでほしい。今日もネットとここで生きている人に。今日までに誰かに悪口を言うなり書くなりしてきたあなたに。そしてお願いです。その一ページをカーソルではなく紙をめくって確かめて下さい。大山達の物語を、姿の無いネットや人間の怖さを。



『まだある!! アレにもコレにも!』  
モノのなまえ事典』

おすすめの  
相手 名前の分からない物を  
「アレ」と呼んでいる人へ

松岡 春樹 (北海道)  
札幌市立栄町中学校1年生



『まだある!! アレにもコレにも!』  
モノのなまえ事典』  
杉村喜光/文 大崎メグミ/絵  
ポプラ社

皆さんは、クリスマスツリーの一番上にかざるアレを知っていますか。もちろん知っていることだと思えます。ですが、アレの名前は何でしょうと聞かれると、答えることができない人が多いです。「てっぺんの星でしょ」と思いますが、ちゃんとした正式名称があるのです。

この本では、身近すぎて意識していなかったものの名前や、名前なんかがついていないと思っていたものの名前なんかがたくさんについている本になっています。読み終わったら、おもわず友達にクイズを出したくなると思います。

名前の成り立ちはどれももしろいです。この本を読んで、どうやって名前が生み出されたか調べてみてほしいです。

『ぼくらの一歩』  
30人31脚』

おすすめの  
相手 クラスのみんな

切田 慶佳 (岩手県)  
奥州市立水沢中学校3年生



『ぼくらの一歩 30人31脚』  
いとうみく/文 イシヤマアズサ/絵  
アリス館

私の学校は今、運動会練習の真っ最中。クラスや組団ごとに、毎日全力で練習に励んでいる。私は自分のクラスが好きだ。「十人十色」という感じで、一人一人個性があるけど、いざという時は一つになる。この本に出てくる栗山小六年一組と同じだ。五十メートルを三十人で走るなんて、不可能に近い。でも彼らは毎日必死に努力し、目標だった八秒台を出した。私達だってできるんじゃないか。種目は違えど、長縄で目標の二百回跳べるんじゃないか。そう勇気づけてくれるこの本を、大好きなクラスのみんなにすすめたい。一人一人個性があり、思うことも違う。それでも一緒に前を向く。中学校最後の運動会。跳び切った後に、みんなで思いっ切り笑いたい。

## 『蜜蜂と遠雷』

おすすめの  
相手

私の大好きな音を弾く  
きょうちゃんへ

鈴木佳乃（岩手県）

奥州市立水沢中学校3年生



『蜜蜂と遠雷(上下巻)』  
恩田陸／著  
幻冬舎文庫

きょうちゃん、知ってる？この本。知ってるかもな、きょうちゃんは読書家だから。でも、伝えたいな。この本を読んでいる時、いろいろな音が聞こえてくることを。力強い響き、柔らかな音の伸び。音楽のことをよく知らない私にも分かったよ。ページをめくるごとに音が耳に飛び込んできて、鳥肌が立ったよ。もっとたくさんの音を聞きたくて、本を読む手を止められなくなった。気付いたら、全部読み終わってたよ。

一つ、きょうちゃんにお願いしたいことがあるんだ。ピアノが聞きたいです。あなたの持っている「優しい音」を聞かせて下さい。この本でいろんな音を聞いたけど、私が一番好きなのは水平線のように広がる、あなたの優しい音です。

## 『愛しなさい、一度も傷ついたことがないかのように』

おすすめの  
相手

なやんでいる人へ

永坂結愛（岩手県）

奥州市立水沢中学校1年生



『愛しなさい、  
一度も傷ついたことがないかのように』  
リュ・シファ／編 オ・ヨンア／訳  
東洋経済新報社

私の気持ちを考えないで普通に暴言や暴力をしてくる友達が嫌い。私の事をすべて分かっているふりをする親が嫌い。こんな事を考えてもどうにもならないのを知っているのに考えてしまふ自分が大嫌い。そんな事を考えた事がある人へ、この本を紹介します。私は本を読む事が苦手です。長いし、完結まで読むのに時間がかかるから。だけどこの詩だけは飽きずに読んでいられる。それは私の心の中で眠っている、もう一人の自分に励まされている気がするから。私を救ってくれた一冊、自分の気持ちにより添ってくれた一冊、私が救われたように、コレを読んでいる貴方もきっと救われると思います。なのでぜひ読んでみて下さい。





# 『この恋は世界でいちばん美しい雨』

おすすめの相手  
雨が嫌いな方・大切な人がいる方へ

新城衣織（福島県）  
会津若松市立一箕中学校2年生



『この恋は世界でいちばん美しい雨』  
宇山佳佑／著  
集英社文庫

私はこの本を読むまで雨が嫌いだった。この本には日菜とキヨロちゃんの二人の死から始まるライフシェアリングという奇跡の物語が描かれている。また、雨は誰かが大切な人を想って降らすものだとか教えてくれた。

私は五年前、大好きなおじいちゃんを亡くした。おじいちゃんを亡くしてからおじいちゃんも雨は大切な人に向けて誰かが降らせていると教えてくれたのを思い出した。雨が降るたびおじいちゃんがいなくて実感し、暗い気持ちになつていたがこの本を読んでからおじいちゃんが私を想って降らせてくれていると思え、この本も、雨も大好きになった。

次降る雨は、大切な人があなたを想って降らせてくれる雨。

# 『ツルネ』

—風舞高校弓道部—

おすすめの相手  
弓道部員

池田柚希（茨城県）  
茨城中学校3年生



『ツルネ—風舞高校弓道部—』  
綾野ことこ／著 森本ちなつ／イラスト  
©綾野ことこ／京都アニメーション  
京都アニメーション KAエスマ文庫

県大会の日、私は「中てたい。中てたい。」と思っていた。

この本は、主人公である鳴宮湊が、訳あって一度は弓道を退いたものの、凄腕の射手である滝川雅貴と出会い、弓道を再開。風舞高校弓道部で仲間とともに県大会優勝を目指す話だ。

本に「執着を弓は嫌う。」という言葉があった。中学最後の県大会中に、この言葉をふと思い出し、私の気持ちはニュートラルなものへと変わった。結果、練習以上の的中率を出せ、団体戦で優勝することができた。本のようなことが実際にあったのだ。

ぜひ、『ツルネ』を弓道部員に読んでほしい。弓道部員だからこそ悩みや葛藤を共感でき、最後まで楽しんで読むことができる。



## 『舟を編む』

おすすめの  
相手  
なかなか結果が出ない  
自分自身

堀田 紗礼 (茨城県)

佐野日本大学中等教育学校2年生



『舟を編む』  
三浦しをん／著  
光文社文庫

私は父親から「人一倍努力しているのにどうして結果が出ないんだろうなあ。」とよく言われる。自分でも自覚があつて「頑張つてはいるつもりだけど仕方ないのかな」と思っている。読書が好きなのに学校の成績に結びつかないし、話す時に適切な言葉が出てこなくて困る。でもこの本を読むと、言葉好きで辞書を沢山読む主人公馬締でも自分で言葉を探し「舟を編む」、つまり辞書を完成させるまでに十五年近くもかかったことに驚く。結果を出すまでに一つのことになんかに集中して頑張れるなんてすごい。馬締に比べれば私の頑張りや結果につながらない現状なんて大したことではない。時間がかかってもいつか結果は出ると信じて努力を続けていこう。

## 『未来の医療で働くあなたへ』

おすすめの  
相手  
おじいちゃん

宮田 惺 (茨城県)

江戸川学園取手中学校2年生



『未来の医療で働くあなたへ』  
奥真也／著  
河出書房新社

おじいちゃんは、もうすぐロボット「ダビンチ」で手術をしますね。不安ではないですか。この本の一部に「ダビンチ」の利点について書いてありました。医師が難しい外科手術をする時、とても時間がかかり、患者さんの体にもダメージを与えてしまいますが、ロボットが行うと、人間の手では不可能な角度からメスを入れられたり、物理的に届かない部位の手術をしたり、ミリ単位の緻密な操作を行ったりすることをおこなうそうです。私は、ロボットで手術を受けると聞いた時、とても驚き、心配しましたが、技術がとても進歩していることを知り、安心しました。おじいちゃん、不安かもしれませんが、安心して手術を受けてください。



## 『西の魔女が死んだ』

すすめたい  
相手に  
何かに挫折している  
未来の私へ

佐藤多恵（埼玉県）  
頌栄女子学院中学校2年生



『西の魔女が死んだ』  
梨木香歩／著  
新潮文庫

最近部活が上手くいかない。弓道部に入っていて毎日何時間も練習しているが何射引いても中々的には届かないしそのかわりに左腕には赤い痣がどんどん広がっていく。同輩を見ると何回も中つていて自分だけ取り残されたような焦りが増していくばかり。部活を辞めることも何度も考えた。そんな状況が毎日続き嫌になつていた時にふとこの本を読み返した。魔女修行で一番大切なことは自分で決めたことをやり遂げる力と魔女は言う。はっとした。去年の春、弓道部に入部し頑張ると決めたのは他でもない私なのだから最後の引退までやり遂げるべきだと思った。今あなたが何かに挫折してしまっているのならまたこの本を読み返してもう一度前を向いてほしい。

## 『数学者列伝』

## 天才の栄光と挫折

すすめたい  
相手に  
大きな壁にぶつかって、  
悩んでいる過去の自分へ

土屋佳歩（埼玉県）  
日高市立武蔵台小中学校9年生



『数学者列伝 天才の栄光と挫折』  
藤原正彦／著  
文春文庫

「あー、もし自分が天才に生まれていれば……。」  
中学三年。受験生。七月の某テスト、結果。偏差値△。志望校判定、第一志望□……。「全然足りない。」自分の実力を思い知らされて、あんなことまで考えてしまっている君に、今、この本を読んでもらいたい。

この本には、天才と呼ばれる九人の数学者達を送った、栄光と挫折の人生がまとめられている。まず君に伝えたい。天才は君が考えているほど楽じゃない。彼らは生きている間に「天国」と「地獄」の両方を見る。また、君と天才の違いはほんの些細なこと。でも、ほんの些細なことが人を天才にする。それが一体何なのか、君には気づいて欲しい。きっとこれからすべきことが分かるはずだから。



## 『ハリー・ポッターと賢者の石』

おすすめの  
相手 学校で周りの目が  
気になってしまう人へ

岡田 怜子 (千葉県)  
千葉市立葛城中学校2年生



『ハリー・ポッターと賢者の石 (携帯版)』  
J.K.ローリング/作 松岡佑子/訳  
静山社

※携帯版は現在流通していません。

多くの人が読んだことがあると思います。沢山の冒険にわくわくします。

でも私は、ハリーの冒険だけでなく、友達の高マイオニーの行動に勇気をもらいました。高マイオニーは他の生徒と違ってバカにされたり、悪口を言われても、それに負けることなく堂々としている姿に私は勇気をもらいました。私はその時、自分のクラスに行けずに悩んでいたときでした。それから私はクラスに行くようになり、心細くなった時は高マイオニーならどう行動するかを考えながら楽しく通うことができました。学校で周りの目が気になったりしたときは、是非読んで、自分の武器にして下さい。

## 『今夜、もし僕が死ななければ』

おすすめの  
相手 同年年の友達

片桐 由梨 (千葉県)  
江戸川学園取手中学校1年生



『今夜、もし僕が死ななければ』  
浅原ナオト/著  
新潮文庫nex

主人公は、十歳のときに交通事故で死にかけから、死が近づいている人が分かる力をもっています。そして、その力をもつ意味を見つけるまでを書いたお話です。

私がこの主人公に感動したところは、自分が知りたいことから逃げない姿勢です。自分の生きる意味。そして、この能力の意味。それを知るために、主人公は現実を見て見ぬふりせず、死が近い人に声をかけ寄り添うのです。

人の死期が分かる力は、良いことだけではないと思います。その力と向き合っていく主人公にとっても感動しました。

今一度、命について考え直すことができる作品なので、この本をすすめたいと思いました。





## 『女子力高めな獅子原くん』

おすすめの  
相手 性別を気にしている人

狩野莉紗（千葉県）  
千葉市立葛城中学校2年生



『女子力高めな獅子原くん』  
相舞みー／著  
一迅社

「趣味はお菓子作りです。」  
この言葉を聞いて女性が思いうかんだ人は読んでみてほしい。

この作品の主人公獅子原颯太は中学生の頃自分の趣味が女っぽいことを悩んでいた。だが、幼馴染の子が「すごく尊敬出来る」と言ったことで悩みが解決する。その言葉を聞いてハッとした。最近男女差別をなくそうという声が増えて来ている。だが私は、それが身近にあるというふうには思えなかった。この漫画を読んでこんなにも身近にあったなんて驚いた。

私たち人間には固定観念というものが少なからず存在するだろう。だが、その考えを少しでも違う方向から見ると世界が広がると思う。

## 『さるのこしかけ』

おすすめの  
相手 すぐ暗い気持ちになっちゃう人へ

菅野そよ（千葉県）  
千葉県立東葛飾中学校2年生



『さるのこしかけ』  
さくらももこ／著  
©MOMOKO SAKURA  
集英社文庫

この本は電車の中で読むべきではない。なぜなら読んでいるだけで笑い声が出てきてしまうからだ。この『さるのこしかけ』は「ちびまる子ちゃん」で有名なさくらももこさんのエッセイ集なのだが、本当に声を出さずに読むことは不可能だと私は思う。さくらももこさんを取りまく環境自体が面白いのはもちろんのこと、ワードセンス・挿絵の全てが笑いのツボを刺激してくるのだ。そんな『さるのこしかけ』を、私は嫌なことを思い出してすぐ暗い気分になってしまいう人におすすめしたい。読むだけでゲラゲラ笑えて、嫌なことを忘れられる。そして不思議なことに、読破する頃には周りの出来事が全部おもしろく感じられるようになっていくのだ。



## 『異邦人』

おすすめの  
相手

絵を描くのが好きな人

秦南緒 (千葉県)

千葉県立東葛飾中学校2年生



『異邦人』  
原田マハ／著  
PHP文芸文庫

この本はまるで絵のような本です。どういうこと？って思いました？ たしかに、この本には挿絵のひとつもありません。絵を文で紹介する本でもなく、れっきとした物語です。しかし、陳腐ではなく上品な表現と物語の印象の変化が、色が混ざり合っていくように感じたのです。このような感覚になれるのはこの本だけだと思います。私と同じ感覚を味わってみてほしいです。物語の最初の色と最後の色はまるで別物です。また、どの登場人物に感情移入するかも明度、彩度、絵の具の質感までがらりと変わるでしょう。あなたはどんな絵をつくるのかな。明るい絵、鮮やかな絵、淀んだ絵、真っ黒な絵。是非、あなたにはどんな絵が視えたか教えてください。

## 『邪馬台国はどこですか？』

おすすめの  
相手

邪馬台国に住んでいた人々

安藤竹春 (東京都)

芝中学校3年生



『邪馬台国はどこですか？』  
鯨統一郎／著  
創元推理文庫

邪馬台国に住んでいたみなさん。教えてください。邪馬台国はどこですか？ ある人は近畿だと、ある人は九州だと言います。しかし、この本は違います。この本は、邪馬台国は東北地方にあると言っています。日本のとあるバーで宮田という男が語る歴史に関する珍説の数々。初めは信じられなくても、読んでいるうちに信じそうになってしまいます。なぜなら、どの説もとても魅力的だからです。でも、私たちは真実を知ることができません。だから教えて欲しいのです。この魅力的な本を読んであなた達がどう思うかを。この本に書かれている説が真実なのかを。最後にもう一度聞かせて下さい。

邪馬台国はどこですか？



## 『あの日の交換日記』

おすすめの  
相手 自分の本音が  
伝えられない人へ

池田 朱花 (東京都)  
豊島区立西池袋中学校2年生



『あの日の交換日記』  
辻堂ゆめ／著  
中央公論新社

「交換日記」と聞いて皆さんはどんな事を思い浮かべますか？ 交換日記なんて古臭い、などと思う人もいるかもしれませんが、ですが、この本を読んでいくと書きにしかない特別な力やよさが見えてきます。この本では様々な登場人物が交換日記をしていきます。日記の内容はいいことばかりではありません。しかし、やり取りをする二人は文字を書いて思いを伝えることから自分の中の強い気持ちが出てきています。中学生になると空気を读み自分の気持ちは抑え気味になることが多くなっていると思います。そんな中で、交換日記は文字で気持ちを伝える方法の一つです。自分の本音を伝えようと前に踏み出せるように、この本を読んでみてほしいです。

## 『知られざる縄文ライフ』

おすすめの  
相手 ママ(母)

内山 和美 (東京都)  
江戸川学園取手中学校1年生



『知られざる縄文ライフ え？貝塚って  
ゴミ捨て場じゃなかったんですか!?』  
譽田亜紀子／著 武藤康弘／監修  
スソアキコ／イラスト  
誠文堂新光社

ママへ、面白い本を見つけたよ。ぜひ読んでみて欲しいから紹介するね。  
『知られざる縄文ライフ』という本なんだ。ママの大好きな縄文時代の生活について書いてある本なんだ。ママの作ってくれるハンバーグの事をパパが「縄文バーグ」と評価している理由がわかったんだ。きっと、ドングリとかを潰して作ったパンみたいだからだね。これって誉め言葉なのかな？

縄文時代の土器や土偶には情熱的で生命力にあふれているものが多く、岡本太郎も衝撃を受けたらしいよ。渋谷駅の「明日の神話」もそんな、情熱や生命力を感じる絵だったよね。

また、ハンバーグ作ってね。



# 『ぼくはイエローで ホワイトで、 ちよつとブルー』

すすめたい  
相手 多様性について  
疑問を感じる人へ

奥村莉子（東京都）  
洗足学園中学校3年生



『ぼくはイエローでホワイトで、  
ちよつとブルー』  
ブレディみかこ／著  
新潮文庫

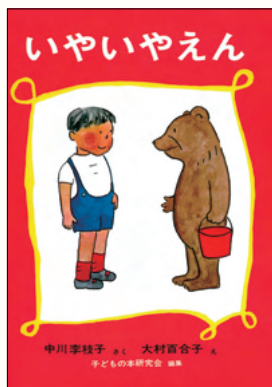
今、相手の立場に立つて多様性を認めようという思考が広まっている。しかし私は、人は人の気持ちが見えないのだから相手の立場に立っているつもりで終わってしまうのではないかと疑問を感じていた。

この本では共感という意味があるエンパシーを「誰かの靴を履いてみる」と表している。この言葉をみて、相手の立場に立つということ、自分の世界観を忘れるということだと感じた。立場はもっている世界観によって変わる。人は皆、自分の感じる景色がある。相手の景色を受け入れることが相手を理解する最善の方法だと考える。この本を読んで多様性に疑問を感じる人に自分なりの答えを見つけてほしい。

# 『いやいやえん』

すすめたい  
相手 中学生の子育てに  
悩んでいる  
お父さん、お母さん

落合仁那（東京都）  
女子美術大学付属中学校1年生



『いやいやえん』  
中川李枝子／作  
大村百合子／絵  
福音館書店

中学生の反抗期に悩んでいるお父さんお母さんにおすすめしたい本があります。それは『いやいやえん』です。この本の最後の物語である「いやいやえん」では、主人公しげるのいやいや期が、これでもかと描かれています。あまりのいやいやに、いやいやえんに連行されるという話です。このときのしげると中学生の反抗期をくらべたら、自分の子供の成長が感じられると思います。なぜなら、中学生のそれには理由があり、自我が成長している証だと思うからです。しげるのようになんでもかんでもいやだいいやだと言っているのとは違うのだと感じることができると思います。ぜひ『いやいやえん』を読んでもう一度思い出してみてください。





## 『翼の翼』

おすすめの  
相手 子供をもつ親へ

小野寺 琉杏 (東京都)

東村山市立東村山第二中学校3年生



『翼の翼』  
朝比奈あすか／著  
光文社

教育虐待になりうるイベント——。それがこの本の題材だ。そう、中学受験である。この本には受験を控えた子供をもつリアルな日常が生々しく描かれている。家庭内だけでなくママ友との関係性も鮮明だ。はじめは軽い気持ちで始めた中学受験も次第に意識が変わり、「いい点数を取らなければ」と息子の翼を追い詰めていく。翼の心が今の私と重なり、プレッシャーに押し潰されそうな様子が痛いほど共感できた。分かる。期待って辛いんだよね。子供の心の内は案外伝わらない。だからこそ、私は大人に読んでいただきたい。あなたが「毒親」になる前に。

## 『六人の嘘つきな大学生』

おすすめの  
相手 嘘をついたことがある人へ

倉重 花梨 (東京都)

日本女子大学附属中学校3年生



『六人の嘘つきな大学生』  
浅倉秋成／著  
角川文庫

この本に出てくる人は全員嘘つきだ。有名IT企業の最終選考が舞台のこの物語。全員が、たった一枠しかない内定を狙って嘘をつき、嘘に翻弄される。内定をつかむのは誰か？ 最終選考内で起きたトラブルの犯人は？ そして、嘘をつくのは悪い事？ 読めば読むほどどこまでも疑ってしまう。どの人間も平気で嘘をつく。どんな人でも嘘をつく。しかし嘘つきだけがその人の顔ではない。誰しも一度はついたことのある「嘘」について考えるきっかけにも、この本はなるだろう。だがやはり本筋はミステリー。意表を突かれまくる展開に、ページをめくる手が止まらない…かどうかは、読んで確かめるしかない。私が書いたこの文も嘘なのか、分からないのだから。



## 『かあちゃん 取扱説明書』

おすすめの  
相手

両親に手を焼いている人

清水宗輯（東京都）  
青山学院中等部1年生



『かあちゃん取扱説明書』  
いとうみく／作 佐藤真紀子／絵  
童心社

僕は毎日お父さんに何回も怒られている。この本と違つかあちゃんじゃないけれど。お父さんは毎日ガミガミガミ小さな子供ではないのに。お父さんがお母さんみたいだ。僕も「お父さん取扱説明書」を作ってみた。だけれどもすぐにお父さんに見つかった。「へーん、どうだ。かあちゃんのあつかいなんて、かたんかんたん！ チョチョイのチョイだ。」と、僕はそうはならない。お父さんは「かあちゃん」みたいに単純で真っ直ぐな人ではない。レベルで言ったらレベルMAX。ラスボス級だ。かあちゃんやとうちゃんに手を焼いている人はこの本を読んで「トリセツ」を作ってみることをオススメする。

## 『世界は「」で 沈んでいく』

おすすめの  
相手

そのままでもいい人へ

庄崎曦（東京都）  
女子美術大学付属中学校1年生



『世界は「」で沈んでいく』  
櫻いいよ／著  
PHP研究所

一人ぼっちだった主人公が勇気を出したらクラス全員と友達に!! そんな本は好きではない。だって勇気出せないし。  
でも、この本は違う。一人が好きなら一人だつていいじゃないか。そのままでもいいんだ。気持ちだけは素直なままでいい。自分を偽らなくてもいい。偽らないと友達が出来ない? みんな自分をわかってくれない? いや。  
そういうひともある。  
そうじゃないひともある。  
いろんなひとがいる。  
だから、自分は自分のままでいい。そう思えるようになるこの本を、ぜひ読んでみてください。



## 『中学理科用語・資料集』

すすめたい  
相手 受験にウンザリした  
受験生

添田祐希（東京都）  
開智日本橋学園中学校2年生



『中学理科用語・資料集 四訂版』  
旺文社

私が中学受験を終えてから、一年と少し経った。突然の自分語りになってしまったが、これはこの文を書く上で必要な情報だ。受験生当時、理科以外でんでダメだった私のモチベーションを維持してくれた本を、受験生当時の私と同様、受験にウンザリした受験生に勧めたい。本書は、理科の用語や実験の種類などをまとめた資料集だ。元から理科好きというフィルターを除いても、この本には一読の価値はあると思う。そして何より、この本は私に、受験の苦病で忘れていた、知識を得ることの楽しさを思い出させてくれた。この本を勧めたい受験生には時間が無い。分かっている。それでも私は、私自身を助けてくれた、この本を勧めたい。

## 『小学館の図鑑NEO 魚』

すすめたい  
相手 魚が苦手な人

園田幹太（東京都）  
東村山市立東村山第二中学校3年生



『小学館の図鑑NEO〔新版〕魚』  
井田齊、松浦啓一／監  
松沢陽土ほか／写真  
小学館

この図鑑は僕が小さい頃、書き込みをしたり、興味のあるページに付せんを貼ったりして、ぼろぼろになるまで夢中で読んだ本です。この本は様々な種類の魚が載っていて、全長や分布、人との関わりなどについて知ることができます。その中でも僕が良いと思ったのは、食用かどうか知ることができる点です。どう見ても食べられないと思った魚も意外と食べられるので、わくわくするし、面白いです。

僕はこの図鑑がきっかけで魚が好きになり、小二の秋に特大の甲斐サーモンを釣り上げることができました。あの時の嬉しさは今でも鮮明に覚えています。魚が苦手な人も、僕のようにこの図鑑が魚を好きになるきっかけになればいいなと思います。



## 『夏の庭』

The Friends

すすめたい  
相手

ご高齢の親戚や知り合いと  
上手に話せない人や  
距離を置いている人

田坂謙典（東京都）

青山学院中等部1年生



『夏の庭 The Friends』  
湯本香樹実／作  
徳間書店

今年、僕の祖父は喜寿を迎えた。祖父は酒が好きで、酔っぱらうと陽気になり、僕に長く語りかけてくる。祖父の言う事はいつもだいたい同じなので、対応が面倒くさくて、僕は苦笑いしてその時間を流してきた。でもこの本に出会ってからは、祖父との時間が楽しくなり、酔っぱらう祖父が面白いし、これからも元気に長生きして欲しいと思うようになった。この本は、死んだ人を見てみたい少年達が、もうすぐ亡くなる噂された一人暮らしのお爺さんを監視している間にお爺さんと仲良くなっていく内容だが、僕は、この本を読み終わって、涙が出た。この本を読むと高齢者との向き合い方や価値観が変わるので、是非読んでみて欲しい。

## 『モモ』

すすめたい  
相手

仕事をする意味が  
見いだせなくなっている  
社会人の皆様

富岡紗季（東京都）

日本女子大学附属中学校2年生



『モモ』  
ミヒャエル・エンデ／作  
大島かおり／訳  
岩波少年文庫

無心で仕事をやり続ける人々で溢れる街。お金はいくらでもあるのに何かが足りない…。これは「仕事こそが最高の時間の使い方だ」と洗脳され、時間を奪われ続けていく大人達を助けようとする子供達と組織の戦いを描いた物語だ。私はこの本を読み、時間に対する考え方を覆された。今まで勉強こそが有意義な時間でのんびりするのは無駄な時間だと思い込んでいた。だが、作中の大人達は仕事をし続け、有意義な時間を過ごしているはずなのに感情を失い、まるで死んでいるかのように生きている。本当の「幸せな生き方」とは何なのか。人は時間に支配されてしまっているのか。日々仕事に追われ、自分を見失っている大人に読んでほしい本だ。





## 『言葉の温度』

おすすめの  
相手 「言葉」について  
深く考えたことがない人

野田芽依 (東京都)

頌栄女子学院中学校2年生



『言葉の温度』  
イ・ギジュ／著 米津篤八／訳  
光文社

あなたの「言葉の温度」は何度ですか。この本は、著者が日々の日常の中での会話、出来事から本や映画の一節を引用しながら「言葉」について語られているエッセイです。主に愛や生について語られているため心温まる内容になっています。あなたは「言葉」について深く考えたことはありますか。私はこの本を読むまでは特に無かったです。以前の私のように「言葉」とは何なのか考えたことが無い人に特に読んでほしいです。「言葉」は生きていく上で必要な物です。また、「言葉」には人を癒したり、傷つけたり、人の感情を左右する大きな力があります。この本を読んで、普段の自分の「言葉」を見つめ直す機会を作りませんか。

## 『学校という ブラック企業』

おすすめの  
相手 嫌いな先生がいる人へ

藤倉滉人 (東京都)

順天中学校2年生



『学校というブラック企業』  
元公立中学教師の本音  
のぶ／著  
創元社

先生の事が嫌いな理由は何だろうか。校則やルールにうるさいからなど様々な理由があると思う。  
しかし、生徒と同じことを思っている先生が少なくともこの日本にはいる。百時間を超える残業によって自分や家族との時間をとることもできず、学校側の「中学生らしさ」や「華美なデザイン」など「らしさ」で人をしばったり人によって基準が変わる校則なんていらなそうに思っている先生達もいる。この本にはそんな学校の「先生の本音」が書かれている。別にこの本を読んで無理に先生の事を好きになる必要はない。ただ先生達もそのルールや校則、学校の「被害者」である事を忘れないでほしい。



## 『わすれられない おくりもの』

すすめたい  
相手 大切な人の死を受け入れ  
なければならぬ方々

松永龍弥（東京都）

大田区立大森第六中学校2年生



『わすれられない おくりもの』  
スーザン・パーレイ／作・絵  
小川仁央／訳  
評論社

僕が小学4年生の時、祖母の看取り介護をした。いつも僕の味方でいてくれた大好きな祖母の死が迫り、僕は悲しくて仕方がなかった。その時、お世話になっていた訪問看護師さんが薦めてくれた。この絵本を読んだ時、祖母から教えてもらった沢山のことを思い出した。祖母は僕をいつも優しく見守り、色々なことにチャレンジさせてくれ、色々な所へ連れて行ってくれた。祖母との沢山の思い出を大切に、人生で役立てていく事で悲しみを受け入れる覚悟ができたように思う。祖母が沢山の「わすれられないおくりもの」をくれた事に感謝した。

大切な人の死を受け入れなければならない方に、死を受け入れるきっかけの一つにしてもらいたい。

## 『黒い雨』

すすめたい  
相手 喧嘩をしている人

松本祐太郎（東京都）

豊島区立西池袋中学校3年生



『黒い雨』  
井伏鱒二／著  
新潮文庫

第一次世界大戦や第二次世界大戦など世界で起こってきた争いについて、歴史の授業でたくさん学んできたよね。その度にどのくらいの被害が及んだかも教わったと思う。『黒い雨』は第二次世界大戦時に広島県に落とされた原子爆弾について語っている。被爆者と主人公の黒い雨にうたれて原爆病に蝕まれてゆく姪の悲惨な生活を描いている。戦争なんて自分には関係ないと思う？ いいえ、そうではない。あなたが家族や友達としている喧嘩も立派な争いだよ。暴力も悪口も相手を傷つける道具の一つだよ。あなたがだれかの心という広島に悪口という原爆を落とすだけで、その人がどんな思いを抱くか考えてほしい。『黒い雨』を読んだ後のあなたが楽しみだ。



## 『イーハトーブ ふしぎなことば』

おすすめの  
相手 友達

南 葵 彩 (東京都)

日本女子大学附属中学校2年生



『イーハトーブ ふしぎなことば』

宮沢賢治／文

松田司郎／写真・解説  
文研出版

宮沢賢治のオノマトペは、軽快で面白く不思議な響きがあるのに、情景をそのまま表したような、その様子が目に浮かぶような音でもある。私は、そんな賢治のオノマトペが大好きだ。中でも私のお気に入りには、「十力の金剛石」に登場する「ギギン ツァランツァリルリンサンダ、サンガリン」というオノマトペだ。それはりんどうの花が鳴る音、トッパアスのつゆがこぼれてきらめく音、はちすずめが鳴く声だ。そんな不思議で魅力溢れる賢治のオノマトペがこの本では彼の十五もの作品から抜粋され纏められている。是非読んで、賢治のオノマトペの世界に浸ってみてはいかがだろうか。そして自分のお気に入りのオノマトペを見つけて欲しい。

## 『身のまわりの ありとあらゆるものを 化学式で書いてみた』

おすすめの  
相手 中高生

山 本 真 愛 (東京都)

日本女子大学附属中学校2年生



『身のまわりのありとあらゆるものを  
化学式で書いてみた』

山口悟／著  
ベレ出版

私の周りの友達には化学は難しいから嫌いだとか暗記科目だから嫌だとか化学までもか科学すら嫌いだと言います。確かに化学で習う事全てが簡単な訳ではありません。しかし沢山の知識を身につけた中高生なら化学の面白さが分かる気がします。ハマれとは言いません。しかし是非この本を一度読んでみてください。なぜ虫歯になるのか、なぜ石鹸で汚れが落ちるのか。身の回りの物の不思議が化学式でハッとすると、よく分かります。中学生は今習っている事が本の内容と結びつき高校の勉強の先取りが出来ちゃいます。高校生はあの授業はこんなに面白かったのだと思うでしょう。科学好きの私が何十冊も化学の本を読んで選んだ是非読んでみてほしい一冊です。



## 『世界の 美しいきのこ』

すすめたい  
相手 きのこが嫌いな人・  
苦手な人

山本百合（東京都）  
開智日本橋学園中学校3年生



『世界の美しいきのこ』  
保坂健太郎／監修  
パイインターナショナル

きのこに美しさを感じたことはあるだろうか。本屋でこの本を手にとった五歳の私は、本を開いた瞬間きのこの世界に魅せられた。

きのこが嫌いな人の多くは、味や匂いが苦手だったり、食感が嫌いだったりするのだと思う。見るだけで味を想像してしまう人もいるかもしれない。しかし、その心配はない。何故ならこの写真集の中のきのこは、殆どが食べることでできない猛毒だから！食べる気なんて起きないのである。

この本は、私にきのこを「見る」という新しいジャンルを生み出してくれた。この本のきのこはとにかく美しく神秘的で、それでいて可愛さも持っている。きのこを好きになること間違いなしである。

## 『さかなクンの 一魚一会 まいにち夢中な人生！』

すすめたい  
相手 夢をあきらめそうに  
なっている人

山家志優桜（東京都）  
国府台女子学院中学部2年生



『さかなクンの一魚一会  
まいにち夢中な人生！』  
さかなクン／作・絵  
講談社青い鳥文庫

この本を、夢をあきらめかけているあなたに。私には将来の夢が無い。正しくは、夢を持つのが怖い。夢を持っても、叶わずに人生を終えるのがオチだ。だが、彼は違った。彼とは、魚好きといえば真っ先に思い出す人、さかなクンだ。彼は魚好きを笑われても、魚への愛を追求し続け、夢を叶えた。それはとても難しいことだ。私はそんなさかなクンが羨ましい。だが、この本を読んで分かったことがある。それは、好きな事を追求し続けている人は、とても幸せそうに生きている、ということだ。私もそんな人生を生きてみたい。他人も未来も気にせずに、好きを極める大切さを知った。この本は、さかなクンは、未来をギョギョつと明るく照らしてくれる。





# 『私は私のままで 生きることにした』

すすめたい  
相手 何か生きづらさを  
感じている人へ

石田 葉南 (神奈川県)  
頌栄女子学院中学校3年生



『私は私のままで生きることにした』  
キム・スヒョン／著 吉川南／訳  
ワニブックス

私は中学一年生の時に自分の人生に少し生きづらさを感じていました。果たしてこれが本当の自分なのだろうか、相手に自分はどのように見えているのだろうか、毎日色々なことを繰り返して考えていました。そんな時に私はこの本を読みました。本には「私たちは自分なりの答えをもつ権利がある。それは誤答ではなく、各自にとっての正解だ。」という言葉がありました。これは私の心にとっても響きました。それから私は自分をしっかり持ちながら自分の人生を歩めている気がします。

もし、あなたも生きづらさを感じているのであれば一度この本を手にとってみてください。あなたの人生のヒントになる言葉が見つかるはずです。

# 『なんでもない 一日の辞典』

すすめたい  
相手 想像することが好きな人

榎本実咲 (神奈川県)  
日本女子大学附属中学校1年生



『なんでもない一日の辞典』  
山口謠司／著  
水元さきの／イラスト  
WAVE出版

最近の私の急上昇活用ワードは「だるっ」。面倒くさい時、動きたくない時、母に何かを注意された時。この三文字で片づける。

この辞典は言葉の言い回しが紹介されている。例えば「仲間」「相棒」という言い方もある。私の相棒って誰だろう。友だち一人ひとり进行い浮かべる。「戦友」は部活仲間を指すのかな。いつかそう呼べる日を夢見てみる。「新しい」を言い換えた「まっさら」は、今の私の夏休みの宿題だ。「生新」。読み方さえ分からない言葉に出会った。いつか使いこなしたい。この本を退屈な人、言葉を増やしたい人におすすめする。なんでもない一日は、想像力豊かに過去や現在、未来にまで想いを寄せられる大忙しな一日になるはずだ。



## 『生物に学ぶ 敗者の進化論』

すすめたい  
相手 生物界で人間は  
勝者だと思っている人

織田 桃実 (神奈川県)

日本女子大学附属中学校3年生



『生物に学ぶ敗者の進化論』  
稲垣栄洋／著  
PHP文庫

試合、入試…。勝者の裏には必ず敗者が存在する。皆さんは「敗者」に対してどのような印象を持ちますか。この本では生物学から見た「敗者」がテーマで、生存競争において「敗者たち」は敗者であって敗者ではないという驚きの展開です。あえて毒を持たなくなった植物や草食動物から身を守るために進化したイネなど敗者となった生物たちが遂げた進化を知りながらその生物の歴史を辿ることができ、これがこの本の面白さだと思います。この本を読めば皆さんの持つ敗者の印象が必ず変化します。また生物の歴史を知ること、雑草などの見方も大きく変化します。私が生物部に入部するきっかけとなったこの一冊。ぜひ読んで生物に興味を持つて欲しいです。

## 『ディズニーランドで あった心温まる物語』

すすめたい  
相手 これから少しずつ  
大人になっていく、  
小学三年生の弟

江口 慶杜 (新潟県)

新潟明訓中学校2年生



『ディズニーランドであった  
心温まる物語』  
東京ディズニーランド卒業生有志／著  
香取貴信／監  
あさ出版

弟には『ディズニーランドであった心温まる物語』を読んで欲しい。弟はまだ小学三年生。人とのようにして関わっていくのが曖昧な年齢だ。だからこそ弟には、この本を読んで、「人に対してやってはいけないこと」ではなく、「人に優しくするべき理由」を学んで、優しい人になってもらいたい。私自身もこの本を読んでから、人に対する接し方が自然と変わっていった。弟も人に対する接し方が変わればいいなと思っている。また、この本に書かれている物語の全てが実話なので、「説得力」というものが生まれるような気がする。物語を読んでいくうちに、「人に優しくするべきだ」と考えるようになった。この本を読んだ弟が優しい人になりますように。



# N

おすすめの  
相手

自分だけの  
物語体験したい人・  
わくわくしたい人

羽田ひより（長野県）

中野市立中野平中学校2年生



『N』  
道尾秀介／著  
集英社

「読む順番で、世界が変わる。」

「え？」と思いませんか？ 私は最初そう思いました。でも不思議とどこを読んでも話は完結するんです。物語は6×5×4×3×2×1で720通りあり、どの章から物語を始めるのか、次にどの章の物語を読むのか、最後はどの章の物語で終わらせるのか、それを決めるのはあなた次第です。面白い結末か、悲しい結末か、あなたの読み方によって変わります。

自分だけの物語を見たり、体験したい人にとってもおすすめです。ぜひこの本を読んで様々な物語を冒険してみてください。

さて、あなたは720通りの物語を読み切ることが出来ますか？

# かがみの孤城

おすすめの  
相手

小学校三年生の私

永井心陽（岐阜県）

中津川市立第二中学校1年生



『かがみの孤城』  
辻村深月／著  
ポプラ社

どうして、もっと早くに読まなかったのだろう。読んでいたら、楽に過ごせたはず。だって、今の私はこの本に救われたから。

「闘わなくてもいいよ」。そんなことがあってもいいんだ、と気づけた一文。小三の私は、周りとは合わなくて、とにかく学校に行きたくない、そんなかんじだった。この本を読んだのは小六のとき。元々、涙もろい私だが、ここまで泣いたのは初。主人公に感情移入しちゃって。何回も読んだ。いつでも読めるように買った。本のお厚さ、表紙の絵。ざらつき。人物の温かさ、優しさ。私はこの本が、好き。読めば毎回幸せになる。

無理に闘わなくてもいい。もっと自由に、楽に過ごして。そして、この本を読んで。小三の私へ。



『くまのがっこう』

## ジャッキーのしあわせ

おすすめの  
相手

「幸せ難民」のあなたへ

飯見 奈々（愛知県）

愛知教育大学附属岡崎中学校3年生



『くまのがっこう ジャッキーのしあわせ』  
あだちなみ／絵 あいはらひろゆき／文  
ブロンズ新社

幸せ。これを手に入れるために人々は工夫してきた。良い会社に入れば？ 大金持ちになれば？ そしていつしか世界に「幸せ難民」が生まれてしまった。かくいう私も立派な「幸せ難民」だ。特に、受験生である今年は「順位はそんなに大切？ 高校に入ればそれでいいのか？」と、悩みは尽きない。

そんな時、この本を読んだ。ジャッキーが小さな妹のために頑張る姿を見ると、頬が緩み、笑顔になる。すると心は柔らかな色で包まれ、ぽかぽかした。幸せって私次第かも。そんな風に思え、心が安らいだ。

そこで悩んでいる「幸せ難民」のあなた。この本を開いてみてほしい。あなたの心が変わるから。

## 『植物はなぜ動かないのか』

弱くて強い植物のはなし

おすすめの  
相手

周りの目が  
気になるあなた

村田 杏（愛知県）

名古屋市立鳴子台中学校2年生



『植物はなぜ動かないのか  
弱くて強い植物のはなし』  
稲垣栄洋／著  
ちくまプリマー新書

この本では、食物連鎖のピラミッドの一番下に位置しつつも自分で居場所を切り開き、勝ち抜いてきた植物の本当の強さが綴られています。私は少し変わったところがあり、友人から強く指摘されるたびに気にして、改善しようと努力しつつも、友人や社会の基準に流されゆく自分をずっと責めていました。けれど、この本に出会い、人の流れに合わせて自分を変えても、堂々と一人で立っても、自分で見つけた居場所でオンリーになれば生きていけるのだと気が付きました。そもそも自然界に普通という基準は存在しないのかもしれない。人間は、すぐ他人と自分を比べ、自分は弱いなどと決めつけます。植物のように、大空だけを見上げて生きていきませんか。





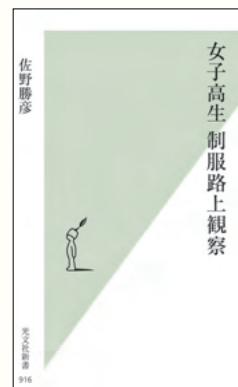
## 『女子高生 制服路上観察』

すすめたい  
相手

生徒が制服を  
着崩していて  
困っている先生方へ

稲寄蓮那 (三重県)

白子国語教室 中学校3年生



『女子高生 制服路上観察』  
佐野勝彦／著  
光文社新書

なぜ制服をあんな風に着崩すのだろうか？  
私には理解不能だ。

中学校や高校で教師をしている方々ならば、一度は私のような気持ちになった事があるはずだ。そんな方にはぜひこの本を読んでみてほしい。そこで、女子高校生の制服に対する強い信念を感じてほしい。そして、みんなが心から着たいと思えるような制服に変える事を検討してほしい。そうする事によって、生徒の過度な着崩しは減り、先生方の負担も少なくなるだろう。

この本は、私が不思議に思っていた制服の着崩しや、昔流行っていた「腰パン」の謎を分かりやすく教えてくれた。そして、制服の大切さと共に、制服を大事にしようと思うきっかけとなった。

## 『エリート』

すすめたい  
相手

誰かを「うらやましい」と  
思ったことがある人

石井そら (京都府)

京都市立洛北中学校2年生



『エリート』  
三月みどり／著 アルセチカ／イラスト  
Chinozo／原作・監修  
KADOKAWA MF文庫J

私は、この物語を読んで涙が出てきたことが不思議だった。私は主人公の少女が持つ、「夢を抱けるほどの大好きなこと」を見つけられないからだ。なのになぜ夢を追う彼女に共感できるのか、三回読んでやっと分かった。彼女自身が挫折しかける度を感じている「あの人はすごいのに自分はダメだ。」という思いは、私も日々感じているからなのだ。「うらやましい」は、自分に自信が無いからこそ感じるものでもあると思う。

「自分は『優等生』で、『天才』ではなくても、大好きなことを続ける。」という彼女の決意に、胸が熱くなった。「うらやましい」という感情だけで終わらず、次のステップへ進みたい人へのエネルギーを、この本は与えてくれる。



## 『ないた』

おすすめの  
相手

最近涙を流していない人

エブラヒムアユ―天瑠（京都府）  
大山崎町立大山崎中学校1年生



『ないた』  
中川ひろたか／作  
長新太／絵  
金の星社

この本は、特に、最近涙を流していない人に読んでほしい。この本を読んで泣くのではなく、この本を読んで「なみだ」というものを思い出してほしい。

私はこの本を読んで、小学校のころの自分を思い出した。がまんなんかせずに、いやなことがあったらすぐに泣いていた。でも、大きくなるにつれ、泣くことが少なくなった。でも、この本から、大人も子供もがまんできなかつたら泣けばいいということを感じることができ、「なみだ」が生きていく中で大切だと分かった。

これから皆、人生いろんなことがおきると思う、だけど、どんな時も、「なみだ」は絶対に忘れないでほしい。誰だって、泣きたい時は、泣けばいい。

## 『おもしろい！進化のふしぎ 続々ざんねんな いきもの事典』

おすすめの  
相手

自分に自信がない人へ

今西美晴（大阪府）  
泉大津市立東陽中学校3年生



『おもしろい！進化のふしぎ  
続々ざんねんないきもの事典』  
今泉忠明／監修  
高橋書店

「人と比べちゃダメ」って言われたことある？  
自分に自信がなくて、つい人と比べちゃう。そんな時もあるよね。じゃあちょっとだけ、比べてみない？

この本には、ちょっとびり残念ないきものがたくさん紹介されています。例えば、「リスはほお袋で食べ物がくさって病気になる」。なんのために貯めてんねん！って思うよね。そんな残念な一面をもつリスと比べたら、自分の短所も気にならなくなるんじゃないかな。

たしかに、人と比べるのは良くないことかもしれない。でも、この本のいきものたちの力を借りて、あなたが自信をもつて前へ進んでいけるなら、ちよつとぐらい比べちゃってもいいと思うんだ。

みんなちがうから、いい。



## 『かあちゃん』

すすめたい  
相手 母へ

大塚麻尋 (兵庫県)

神戸女学院中学部1年生



『かあちゃん』  
重松清／著  
講談社文庫

私は反抗期の真っ最中。母に頼りたいけど、頼り方が母をにらむことしか出来なくて叱られたり。叱られるときに適当な言い訳を見抜かれ謝れなかったり。そんな意地っ張りな自分に自分でも呆れる。

この本を読み始めるときは温かく優しい本だと思っていた。だが、いじめ、自殺未遂、交通事故死などの重いテーマがたくさんあった。しかし「かあちゃん」がどんな時もこの物語を優しく包んでくれた。母の頑張る姿を見て自分達も一歩進もうとするその子供達を見ながら、私も「かあちゃん」と言ってみたいと思った。だから私からプレゼント。口にするのも文字にするのも恥ずかしい私の本音。この本を読んで知ってほしい。

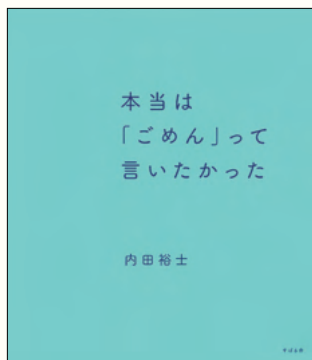
## 『本当は「ごめん」って 言いたかった』

すすめたい  
相手

素直に謝ることができない人  
謝ることにマイナスイメージを  
持っている人

工藤菜野 (兵庫県)

姫路市立豊富小中学校7年生



『本当は「ごめん」って  
言いたかった』  
内田裕士／著  
すばる舎

謝ることが負けることだと思っていませんか？私は自分の納得がいけないことで謝ることは「負ける」ということだと思い込んでいました。そして謝る行為に対して否定的な考え方を持っていました。人は皆違った価値観を持っていて、そのことで、もめ事やすれ違いが起きます。けれど価値観の違いを受け止め、人と向かい合うことで良好な関係を築くことは難しいものではなくなると思います。その一歩に「ごめん」を上手く使いこなす術がこの本にはたくさん載っています。謝ることで手に入れられるもの、新しい未来をつくることができるということを教えてくれる一冊になっています。素直に謝ることができない人にぜひ読んでほしいです。



## 『檸檬』

おすすめの  
相手 悩みがある人

手塚花凧（兵庫県）

姫路市立豊富小中学校9年生



『檸檬』

梶井基次郎／著 げみ／絵  
立東舎

もし、あなたがどうしようもないほどの悩みを抱えているのであれば、自分を責めてしまう前に、その悩みごと檸檬爆弾と一緒に木っ端微塵に爆破させてみませんか。檸檬の爽やかな香りが辺り一帯に広がり、あなたの心をおさえつける不吉な塊を吹き飛ばしてくれるでしょう。でも惜しいことに檸檬爆弾は『檸檬』の主人公が檸檬を爆弾に見立てたもので、主人公の空想の中にしか存在しません。現実になればきつと役に立つでしょうに。しかしそんな都合のいい話はありません。なので私は悩み事があるときにはこの本を思い出し、心の中で檸檬爆弾を仕掛けることにします。そうすればきつと心が軽くなるでしょうしね。

## 『がんばらないランニング』

おすすめの  
相手 双子の弟

森本竜生（和歌山県）

かつらぎ町立妙寺中学校1年生



『もっと楽にもっと速く  
がんばらないランニング』  
三津家貴也／著  
KADOKAWA

「いつまでも一緒に走っていたい」。これが僕らの思いだ。一分だけ早く生まれた兄だけど、一緒にマラソンを始めてから今日まで、弟の前を走りゴールしたことがない。いつも少し遅れてしまふ。悔しくて辛い。だから、こっそりこの本で研究して速く走ろうと思ったんだ。でもこの本を読んで気づいた。ランニングはキツくて苦しむものではなく、人生をより豊かにするものだって。だからこの本を双子の弟にプレゼントすることに決めたよ。一緒にこの本で研究して2人で、彩り豊かな人生にしよう。いつまでも一緒に走り続けよう。だって僕たちは、走っている時が一番輝いているからさ。





# 『わたしはあなたを あいしています』

おすすめの  
相手 言葉に心のない人

志田原遼（島根県）  
益田市立益田中学校2年生



『わたしはあなたをあいしています』  
宮西達也／作・絵  
ポプラ社

ぼくは中学校に入ってもともと言葉が通じなかった友達ができました。だから、この本をすすめたいと思います。この本では、ティラノサウルスが言葉の通じないホマロケファレにあり、自分のすんでいたところの言葉を教えたがためにおきたしつぱいから、言葉が通じなくても心が通じあうことを教えられました。今、その友達は、ぼくにとって一番の友達ですが、ふだん学校でいっしょにいるのに他の友達のようにまともに話さないけど、彼といるときが一番楽しいから、ぼくも心からつながることは大切だと思います。あなたの言葉も、心のどこかで通じる言葉にかえてみてほしいです。

# 『小説映画 ちはやふる 上の句』

おすすめの  
相手 歴史が苦手な人へ

中田さや（岡山県）  
岡山県立倉敷天城中学校3年生



『小説 映画 ちはやふる 上の句』  
時海結以／著 末次由紀／原作  
小泉徳宏／脚本  
講談社

この本をきっかけに「競技かるた」を知り、始めた人も多いと思う。かくいう私も、そのうちの一人だ。ページをめくった瞬間、その競技の迫力に飲み込まれたのを覚えている。読み進めて気付いた時にはすでに虜になっていた。たったの三十一文字の中に、一人ひとりの感情が、工夫が、熱意が込められている。その美しさを教えてくれた百人一首によって、私の生活は一変した。たくさんの方の力をもらった。感情を豊かにしてくれた。そして何より、和歌に関わる歴史を学ぶのが好きになった。たくさんの方の可能性と、楽しさを教えてくれたこの本を、手にとってほしい。きっと、百人一首を、和歌を、歴史を好きになる。



## 『なぜ僕らは働くのか』

すすめたい  
相手 「将来の夢」が  
答えられない人へ

大松 楓太 (広島県)  
修道中学校1年生



『なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために  
考えてほしい大切なこと』  
池上彰／監修 佳奈／漫画 モドロカ／画  
Gakken

小学六年生の時、悩みに悩んだ卒業文集。将来の自分に向けた作文だったけれど、なりたいた自分を見つけれず、苦しまぎれにお父さんと同じ職業を書いた僕。

将来の夢さえはつきり答えられない僕はダメなやつなのだろうか。それはちがうよ、と教えてくれたのがこの本だ。この本から分かったことは、世の中には今の僕では考えつかないほど多くの仕事があり、どんな仕事も社会で欠かすことのできない大切な役割を担っているということだ。主人公隼人くんのマンガを交えながら「働くこと」について学べるので長い文章が苦手でも読めると思う。

なりたいた自分を上手くイメージできないならぜひ読んでみてほしい。

## 『ぐるんぱのようちえん』

すすめたい  
相手 小学生の弟、けんご

熊高 萌 (広島県)  
広島市立温品中学校3年生



『ぐるんぱのようちえん』  
西内ミナミ／作 堀内誠一／絵  
福音館書店

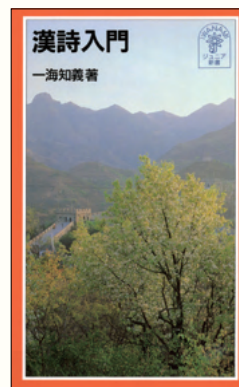
「お母さん、お姉ちゃん。僕が生きていて良かったって思う？」って自分に自信のないけんごはいつも、こんな質問をするよね。自分のことをもっと好きになつてほしいけんごに、私は『ぐるんぱのようちえん』という絵本を読んでほしいな。この絵本の主人公であるぞうのぐるんぱ。ぐるんぱは何をしても失敗ばかりで自分に自信をなくしてしまう。ほら、けんごみたいでしょ？ でもそんなぐるんぱも自身のできること、得意なことを見つけて、ある日から、自分に自信がもてるようになったんだ。マイペースで、ちょっぴり泣き虫なけんごだけど、誰よりも優しく、がんばり屋さんな子だよ。ぐるんぱのように、自分に自信がもてるようになったらいいな。



## 『漢詩入門』

おすすめの  
相手 いそがしい毎日を  
過ごす人へ

土岡 國彦（愛媛県）  
愛光中学校2年生



『漢詩入門』  
一海知義／著  
岩波ジュニア新書

朝早くから時間を意識して走り回り、疲れ果てて寝る。こんな日常は嫌だ！ と思っている人へ、私は漢詩に触れてみることをお勧めします。漢詩を読むことで、日本とは全くスケールが違う、古の土地へと思いを馳せることができます。悠久の時の中で創られた自然の美しさや、巨大な動乱、別離、友情などを詠った詩を読むと、まるで自分がその場にいるような気分になります。

この本では漢詩を基礎から解説しているので、誰もが漢詩の世界へ入ることができます。漢文の知識はほとんど要りません。

通勤・通学中の電車内で、短い休憩時間に、この本を開いてみれば、あなたもタイムトラベラーの仲間入りです！

## 『へいわとせんそう』

おすすめの  
相手 プーチン大統領

野村 憂音（高知県）  
室戸市立吉良川中学校3年生



『へいわとせんそう』  
たにかわしゅんたろう／ぶん  
Noritake／え  
ブロンズ新社

プーチン大統領に見てほしい！と思いました。この本は「へいわのぼく」と「せんそうのぼく」という題を絵に表して「へいわ」と「せんそう」での「ぼく」や「家族」の表情が小さい子でも分かります。

私がこの絵本の中で一番胸に響いたのは「みかたのあかちゃん」「てきのあかちゃん」という最後の二ページです。このページの絵は両ページとも同じあかちゃんが描かれています。私は「みかた」も「てき」も同じだと思いました。プーチン大統領も早く「てき」も「みかた」も同じ思いで戦っていることに気づいてほしいと思ったから私はこの絵本をおすすめします。



## 『あと少し、 もう少し』

おすすめの  
相手

ただ一人の部活の後輩へ

青柳真奈 (福岡県)  
西南女学院中学校3年生



『あと少し、もう少し』  
瀬尾まいこ／著  
新潮文庫

これは仲間と思いをつなげていく駅伝の物語です。私は今バスケット部に所属していて、部員は私を含めて二人。広い体育館の中で一人の後輩と練習しています。試合は他の中学校に混ぜてもらって、出場しています。この物語では、三人足りない状態からスタートしますが、寄せ集めのメンバーがぶつかり合いながらも最後は一つのチームになっていきます。それぞれ悩みを抱えているけれど、団結していく姿に感動しました。だから、私は後輩に、深く関わったことのない他の中学校の人とでも、部活を通して団結できるということを伝えたいです。今は二人しかいなくても、今の練習はいつか必ず役に立つてくれるということを信じて、がんばっていきたいです。

## 『六千人の命を救え！ 外交官・ 杉原千畝』

おすすめの  
相手

17歳の兄へ

平山千乃 (福岡県)  
西南女学院中学校1年生



『六千人の命を救え！  
外交官・杉原千畝』  
白石仁章／著  
PHP研究所

お兄ちゃん、私は学校の図書室であなたと同じ名前の人の本を見つけました。気になって本を読むと、ある一人の外交官についてのお話でした。その人はリトアニアという国で、六千人もの人を救った、杉原千畝という方でした。何故私がお兄ちゃんにこの本をすすめるのかというと、あなたが進路について悩んでいるからです。主人公の杉原さんは小さい頃から自分の興味がある物に全力で取り組んでいました。自分の人生なのに、家族の事、まわりの事も考えてない？ 一回この本を読んで自分に対して正直になって下さい。どんな選択をしても家族全員であなたを支えます。だから安心して自分の将来について考えてみて下さい。





## 『戦争を やめた人たち』

おすすめの  
相手 世界中のみんなへ

江口 亮太 (佐賀県)  
伊万里市立伊万里中学校3年生



『戦争をやめた人たち  
—1914年のクリスマス休戦—』  
鈴木まもる／文・絵  
あすなろ書房

この本は絵本です。表紙は白黒で兵士の絵です。戦争中に実際にあった話で心温まる話でもあります。戦争にはとても切なく悲しい話です。戦争はどんな理由があっても絶対にあつてはならない事です。どんな気持ちで戦争をしているのか、本当に戦争は必要なのか考えさせられる一冊です。絵にもそれが表現されています。白黒の色味の無い表現からだんだんと色味のある表現になり最後は色相が素敵な沢山の笑顔が描かれています。みんなが望む平和の姿に感じます。相手を思いやる気持ちの大切さや自分らしく生きる事、行動で表す勇気が必要とされている事を感じる本なので一人でも多くの人に手に取って欲しいです。

## 『超高速！ 参勤交代』

映画ノベライズ

おすすめの  
相手 社会の歴史に  
抵抗がある人

小山 陽葵 (熊本県)  
熊本大学教育学部附属中学校2年生



『超高速！参勤交代  
映画ノベライズ』  
土橋章宏／脚本 時海結以／文  
椎名優／絵  
講談社青い鳥文庫

小学校六年生の冬、私はこの本に出会った。六年生といえば歴史の授業が始まる時期でもある。だが、私は歴史が嫌いだった。聞いたことのない漢字やカタカナの羅列。誰もが一度は嫌悪感を抱いただろう。そんな時に出会ったのがこの一冊だ。「六人の家来を五十人の行列に、八日かかる道のりを五日で……」弱小藩を潰そうと幕府からふりそそぐ試験の嵐。果たして無事に江戸につくことができるのか。授業で習うことはもちろん、豆知識やユーモアのある大名の会話まで楽しめる一冊だ。

この一冊で歴史の授業と睡魔の等式が覆されたのはまぎれもない事実だ。もし、少しでも歴史への抵抗がある人は読んでみて。きっとあなたの歴史を変えるだろう。



## 『君が夏を 走らせる』

おすすめの  
相手 子育てを経験した  
お母さんお父さんへ

松尾 華 (熊本県)  
熊本市立出水中学校2年生



『君が夏を走らせる』  
瀬尾まいこ／著  
新潮文庫

『君が夏を走らせる』と聞くと陸上などの走る青春ものなのかなと思いました。しかし予想は大外れ、なんと不良少年が夏休みの間一歳児の子守りをするという前代未聞の物語でした。泣きわめく一歳児に何も分からない金髪少年。きつと子育てを経験したお母さんやお父さんはハラハラドキドキしながら読み進めていくと思います。それでも最後には題名の意味が身体に染み渡るようなお話です。私も自分の小さい頃をこの本を読んで思い出しました。はつきりだけでなく母や父のくれる優しさや温かさを。子供はちゃんと覚えていきます。自分の子供からの手紙のようなこの温かいお話を、ぜひたくさんのお母さんやお父さんに読んでもらいたいです。

## 『ペンネンネンネンネン ネネムの伝記』

おすすめの  
相手 私より文豪に  
ハマってしまったKへ

牧つづみ (大分県)  
大分市立原川中学校1年生



『セロ弾きのゴーシュ』  
宮沢賢治／著  
©朝霧カフカ・春河35/KADOKAWA/  
文豪ストレイドッグス製作委員会  
角川文庫

文豪にハマったKへ。  
入学してすぐ、Kなら賢治について語れる！  
と思ったんだ。賢治の独創的なオノマトペ、世界観を君はおもしろがってくれた。もしかしたら私より読んでいるかもね。  
でも、きつとこの作品はまだ読んでないかも。  
「ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記」。タイトルに魅かれるよね。タイトルも興味深いけれど実はこの作品原稿が何枚か焼失してるんだ。けっっこうな枚数なくなってる未完成なの。賢治は「永久の未完成これ完成である。」って言うて、かっこいいーとほれこんでるんだ。さらにこの作品をもとに作られた「グスコブドリの伝記」っていうものもある。読んだら作品について語り合おう。私ももう一度読み直しておくね。



## 『すみれ荘 ファミリア』

すすめたい  
相手  
生きることに  
疲れてしまったあなたへ

山路美羽（鹿児島県）  
始良市立重富中学校3年生



『すみれ荘ファミリア』  
風良ゆう／著  
講談社タイガ

「死にたい」。嫌なことや辛いことがあったとき、私の口から時折出る言葉。あなたも同じような思いにかられることはないだろうか。今まさに心が折れそうな人にこそ、オススメしたい本。作中の人物は皆、不安や葛藤、秘密を抱えながらも、それぞれの形で向き合い、生きている。

ふと思う、「死にたい」が、実は「生きたい」の裏返しかもしれない。是非、手にとってみてほしい。私はこの本を読んで、完璧じゃなくていい、弱音を吐いたっていいと思えるようになり、気持ちが楽になった。それは、足りない部分も含めて個性、それが私であり、あなただから。ペーじをめくればきつと、すみれ荘の住人たちがあなたをやさしく迎えてくれるはずだ。

## 『14歳からの お金の話』

すすめたい  
相手  
お小遣いを  
アップしてほしい14才

黄陽椛（カナダ）  
モントリオール日本語補習校  
中学校1年生



『14歳からのお金の話』  
池上彰／著  
マガジンハウス

14才という年齢はバイトはできませんが、友達との交際費や趣味の費用など、もの凄い物欲に駆られるもどかしい時期であり、親にお小遣いアップをお願いする人が多数いるのではないのでしょうか？

そんな時にこの本を読んでみてください。お金の歴史や日本の経済環境、投資などについて知識を得られます。

働いたこともないのに経済のことなんて……と思うかもしれません。けれども、社会に出る前に知っておけば自分の稼いだお金を銀行に預ける以外の方法で増やし、大金持ちになれるかもしれません。

まずはこの本を読んで目の前の両親とお小遣い値上げ交渉を有利に進めていきましょう！



## 団体賞 入賞団体一覧

入賞団体の所在地の都道府県コード順、同一都道府県内は団体名五十音順に掲載しています。

団体賞は、学校、学年、クラス、グループ（学内の図書委員などの有志グループ、学外の図書館での有志グループなど）など団体による応募に対して、応募数・作品の内容を考慮して授与するものです。  
※団体で応募された作品も、個人賞選考の対象となります。

札幌市立栄町中学校（北海道）	青山学院初等部（東京都）
奥州市立水沢中学校（岩手県）	青山学院中等部（東京都）
石巻市立石巻小学校（宮城県）	大田区立大森第七中学校（東京都）
江戸川学園取手中学校（茨城県）	開智日本橋学園中学校（東京都）
東海村立中丸小学校（茨城県）	葛飾区立柴原小学校（東京都）
甘楽町立福島小学校（群馬県）	神津島村立神津小学校（東京都）
川越市立新宿小学校（埼玉県）	頌栄女子学院中学校（東京都）
川越市立寺尾小学校（埼玉県）	昭和女子大学附属昭和小学校（東京都）
日高市立武蔵台小中学校（埼玉県）	女子美術大学付属中学校（東京都）
千葉市立花見川中学校（千葉県）	白百合学園小学校（東京都）

清泉インターナショナル学園（東京都）	関西大倉中学校（大阪府）
豊島区立西池袋中学校（東京都）	姫路市立豊富小中学校（兵庫県）
東村山市立東村山第二中学校（東京都）	智辯学園和歌山小学校（和歌山県）
文京区立窪町小学校（東京都）	府中町立府中小学校（広島県）
日本女子大学附属中学校（神奈川県）	盈進中学校（広島県）
平塚市立岡崎小学校（神奈川県）	英数学館小学校（広島県）
甲斐市立敷島中学校（山梨県）	近畿大学附属広島中学校東広島校（広島県）
長野市立青木島小学校（長野県）	修道中学校第1学年（広島県）
函南町立桑村小学校（静岡県）	徳島県立徳島聴覚支援学校（徳島県）
近江八幡市立八幡西中学校（滋賀県）	愛光中学校（愛媛県）
京都女子大学附属小学校（京都府）	筑前町立三輪小学校（福岡県）
京都市立洛北中学校（京都府）	アシストゆめ塾（長崎県）
城陽市立寺田小学校（京都府）	みやまの森学園みやまの森学童クラブ（長崎県）
立命館小学校（京都府）	モントリオール日本語補習校（カナダ）
和泉市立青葉はつが野小学校（大阪府）	



# 個人賞 入賞者一覧

入賞者の居住地の都道府県コード順 同一都道府県内は氏名五十音順に掲載しています。

## ■小学校1～3年生の部

宮城県	三浦颯人（聖ドミニコ学院小学校）
宮城県	湊敬太郎（聖ドミニコ学院小学校）
群馬県	善如寺悠乃（フェリーチェ玉村国際小学校）
埼玉県	佐和俊介（川口市立里小学校）
東京都	赤木華奈（昭和女子大学附属昭和小学校）
東京都	嘉藤璃奈（百合学園小学校）
東京都	田中夢乃（国立学園小学校）
東京都	田中琳（昭和女子大学附属昭和小学校）
東京都	棚瀬こはる（昭和女子大学附属昭和小学校）
神奈川県	二野瓶湊音（平塚市立岡崎小学校）
愛知県	小林真叶（名古屋市立植田東小学校）
滋賀県	大富そら（湖南市立菩提寺北小学校）
大阪府	富士谷奏人（和泉市立青葉はつが野小学校）
兵庫県	福永恵三（姫路市立豊富小中学校）
島根県	園山結晴（出雲市立北陽小学校）
島根県	渡部結衣（出雲市立北陽小学校）
岡山県	坂下明咲日（英数学館小学校）
広島県	木村健人（英数学館小学校）

広島県	水ノ上怜奈（英数学館小学校）
山口県	角田さつ紀（山口大学教育学部附属山口小学校）
タイ王国	佐藤陽輝（Dhamarakasa School）

## ■小学校4～6年生の部

茨城県	田中幹琉（東海村立中丸小学校）
茨城県	樋口美緒（守谷市立黒内小学校）
群馬県	土筆心結（甘楽町立福島小学校）
群馬県	柳田陽佑（フェリーチェ玉村国際小学校）
埼玉県	白旗千紘（川越市立新宿小学校）
埼玉県	武石千輝（川口市立里小学校）
埼玉県	能村恵菜（川越市立新宿小学校）
東京都	池上粟（文京区立窪町小学校）
東京都	小川ひより（江戸川区立平井西小学校）
東京都	神徳柚衣（多摩市立永山小学校）
東京都	廣岡陽希（葛飾区立柴原小学校）
東京都	広瀬颯真（御蔵島村立御蔵島小学校）
東京都	山本響子（お茶の水女子大学附属小学校）
神奈川県	瀧吉こあ（横浜市立本牧南小学校）

神奈川県	吉澤ライラ妃陽（横浜市立本牧南小学校）
神奈川県	吉見朋花（横浜市立南太田小学校）
長野県	荒井樹人（松本市立清水小学校）
岐阜県	宇佐見えみ（岐阜市立三里小学校）
静岡県	原幸希（静岡市立清水辻小学校）
静岡県	横山翔季（牧之原市立坂部小学校）
滋賀県	菱澤佳那（京都女子大学附属小学校）
京都府	深田兎生（立命館小学校）
大阪府	大内陽生（和泉市立青葉はつが野小学校）
大阪府	豊田大貴（東大阪市立八戸の里小学校）
大阪府	中村彩愛（立命館小学校）
兵庫県	平野太一（神戸市立義務教育学校八多学園）
岡山県	西江志月（英数学館小学校）
広島県	八谷悠真（府中町立府中小学校）
山口県	山本あさひ（山口大学教育学部附属山口小学校）
高知県	下村花生（中土佐町立大野見小学校）

## ■中学生の部

北海道	鈴木雪乃（札幌市立栄町中学校）
北海道	清野夢花（札幌市立上篠路中学校）
北海道	松岡春樹（札幌市立栄町中学校）
岩手県	切田慶佳（奥州市立水沢中学校）
岩手県	鈴木佳乃（奥州市立水沢中学校）
岩手県	永坂結愛（奥州市立水沢中学校）
福島県	新城衣織（会津若松市立一箕中学校）
茨城県	池田柚希（茨城中学校）
茨城県	堀田紗礼（佐野日本大学中等教育学校）
茨城県	宮田惺（江戸川学園取手中学校）
埼玉県	佐藤多恵（頌栄女子学院中学校）
埼玉県	土屋佳歩（日高市立武蔵台小中学校）
千葉県	岡田怜子（千葉市立葛城中学校）
千葉県	片桐由梨（江戸川学園取手中学校）
千葉県	狩野莉紗（千葉市立葛城中学校）
千葉県	菅野そよ（千葉県立東葛飾中学校）
千葉県	泰南緒（千葉県立東葛飾中学校）
東京都	安藤竹春（芝中学校）
東京都	池田朱花（豊島区立西池袋中学校）
東京都	内山和美（江戸川学園取手中学校）
東京都	奥村莉子（洗足学園中学校）
東京都	落合仁那（女子美術大学付属中学校）

東京都	小野寺琉杏（東村山市立東村山第二中学校）
東京都	倉重花梨（日本女子大学附属中学校）
東京都	清水宗輔（青山学院中部）
東京都	庄崎蔵（女子美術大学付属中学校）
東京都	添田祐希（開智日本橋学園中学校）
東京都	園田幹太（東村山市立東村山第二中学校）
東京都	田坂謙典（青山学院中部）
東京都	富岡紗季（日本女子大学附属中学校）
東京都	野田芽依（頌栄女子学院中学校）
東京都	藤倉混人（順天中学校）
東京都	松永龍弥（大田区立大森第六中学校）
東京都	松本祐太郎（豊島区立西池袋中学校）
東京都	南葵彩（日本女子大学附属中学校）
東京都	山本真愛（日本女子大学附属中学校）
東京都	山百合（開智日本橋学園中学校）
東京都	山家志優桜（国府台女子学院中部）
神奈川県	石田美南（頌栄女子学院中学校）
神奈川県	榎本実咲（日本女子大学附属中学校）
神奈川県	織田桃実（日本女子大学附属中学校）
新潟県	江口慶杜（新潟明訓中学校）
長野県	羽田ひより（中野市立中野平中学校）
岐阜県	永井心陽（中津川市立第二中学校）
愛知県	飯見奈々（愛知教育大学附属岡崎中学校）

愛知県	村田杏（名古屋市立鳴子台中学校）
三重県	稲寄蓮那（白子国語教室）
京都府	石井そら（京都市立洛北中学校）
京都府	エフヒムアユ一（天瑞天山崎町立天山崎中学校）
大阪府	今西美晴（泉大津市立東陽中学校）
兵庫県	大塚麻尋（神戸女学院中部）
兵庫県	工藤菜野（姫路市立豊富小中学校）
兵庫県	手塚花風（姫路市立豊富小中学校）
和歌山県	森本竜生（かつらぎ町立妙寺中学校）
島根県	志田原遼（益田市立益田中学校）
岡山県	中田さや（岡山県立倉敷天城中学校）
広島県	大松楓太（修道中学校）
広島県	熊高萌（広島市立温品中学校）
愛媛県	土岡國彦（愛光中学校）
高知県	野村憂音（室戸市立吉良川中学校）
福岡県	青柳真奈（西南女学院中学校）
福岡県	平山千乃（西南女学院中学校）
佐賀県	江口亮太（伊万里市立伊万里中学校）
熊本県	小山陽葵（熊本大学教育学部附属中学校）
熊本県	松尾華（熊本市立出水中学校）
大分県	牧つづみ（大分市立原川中学校）
鹿児島県	山路美羽（始良市立重富中学校）
カナダ	黄陽栳（モントリオール日本語補習校）

## 令和5年度募集概要

以下は令和5年度募集に関する内容です。

### 募集概要

自分のお気に入りの本を誰かにすすめる読書推せん文を募集

### 応募資格

小中学生

### 募集期間

2023年5月1日(月)～9月15日(金)消印有効

### 用紙・字数

専用原稿用紙に250～300字程度

### 対象図書

日本語で書かれた図書(図鑑や写真集、漫画もOK)

### 表彰

#### 個人賞

表彰状、図書カード10,000円分

小学校1～3年生／小学校4～6年生／中学生

(部門ごとに数十名、最大100名程度を予定)

#### 団体賞

表彰状、図書カード50,000円分(最大50団体程度を予定)

### 選考委員

五十音順・敬称略

大滝一登(文部科学省 視学官)

久米絵美里(児童文学作家)

佐久間亜紀(慶應義塾大学 教授)

中馬淳(公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事)

ひきたよしあき(作家・コラムニスト)

山元隆春(広島大学 教授)

### 本コンクールの特徴

- 選考では文章テクニックより、子どもの本への熱い気持ち、伝えたい気持ちを重視します。
- 250～300字程度の少ない字数の作文コンクールです。
- 個人最大100名程度、団体最大50団体程度の幅広い入賞を予定。入賞者を等しく、表彰いたします。

# お気に入りの一冊を あなたへ 読書推せん文コンクール

### 団体応募

応募総数 **455** 団体

### 個人応募

応募総数 **31,548** 作品



第3回「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は、  
6名の委員によって厳正に選考した結果、  
団体賞49団体、個人賞120名の入賞を決定しました。  
全国からたくさんのご応募、誠にありがとうございました。

### コンクール開催趣旨

子どもが本を「新たに読んでみる」「もう一度読み直す」きっかけをつくり、  
読書を通しての感動、楽しさを体験させ、読書への関心喚起、習慣化を図ります。

好きな本を自分が読んでほしい特定の人にすすめる文章を書くことによって、  
自分の感動を言語化し、思いを伝えるための考える力、表現力を育みます。

主催：公益財団法人 博報堂教育財団

後援：公益社団法人 全国学校図書館協議会 協力：一般財団法人 出版文化産業振興財団

令和 6 年 3 月16日発行

公益財団法人 博報堂教育財団  
<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

本書掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。

公益財団法人 博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

第4回 お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール

募集期間：2024年5月1日～9月13日消印有効

当コンクールについての最新情報は、ホームページでご確認ください。

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/okiniiri/>

